
静岡型生涯活躍のまち（CCRC）構想調査（抜粋）

【目次】

- アンケート調査結果（抜粋）…………… 1～55
- 効果影響分析（抜粋）……………56～61

静岡市保健福祉長寿局 健康福祉部 福祉総務課

アンケート調査

1) 調査概要

アンケート調査の実施概要

■ アンケートのねらい

- ・東京圏・名古屋圏からの潜在的な移住・2地域居住・長期滞在意向の把握
- ・静岡市内・周辺市町村からの潜在的なCCRCへの2地域居住・長期滞在・住替意向の把握
- ・静岡型CCRCへの関心、静岡型CCRCに求められる付加価値（既存の高齢者住まいと異なるサービスや仕組み）の把握
- ・東京圏・名古屋圏在住の静岡県出身者に対して、静岡県から転出した背景やUターン意向について把握

調査方法

手法	インターネットアンケート調査
サンプリング方法	アンケート会社保有のリサーチモニターから、年代と現在の居住地、「静岡とのつながり」、「地方移住意向」などにより抽出
回収サンプル数	1,358件
調査票ボリューム	スクリーニング調査 6問 本調査 29問程度
調査方法	ウェブ配信、ウェブ回収
実施時の調査主体名	Webアンケート会社

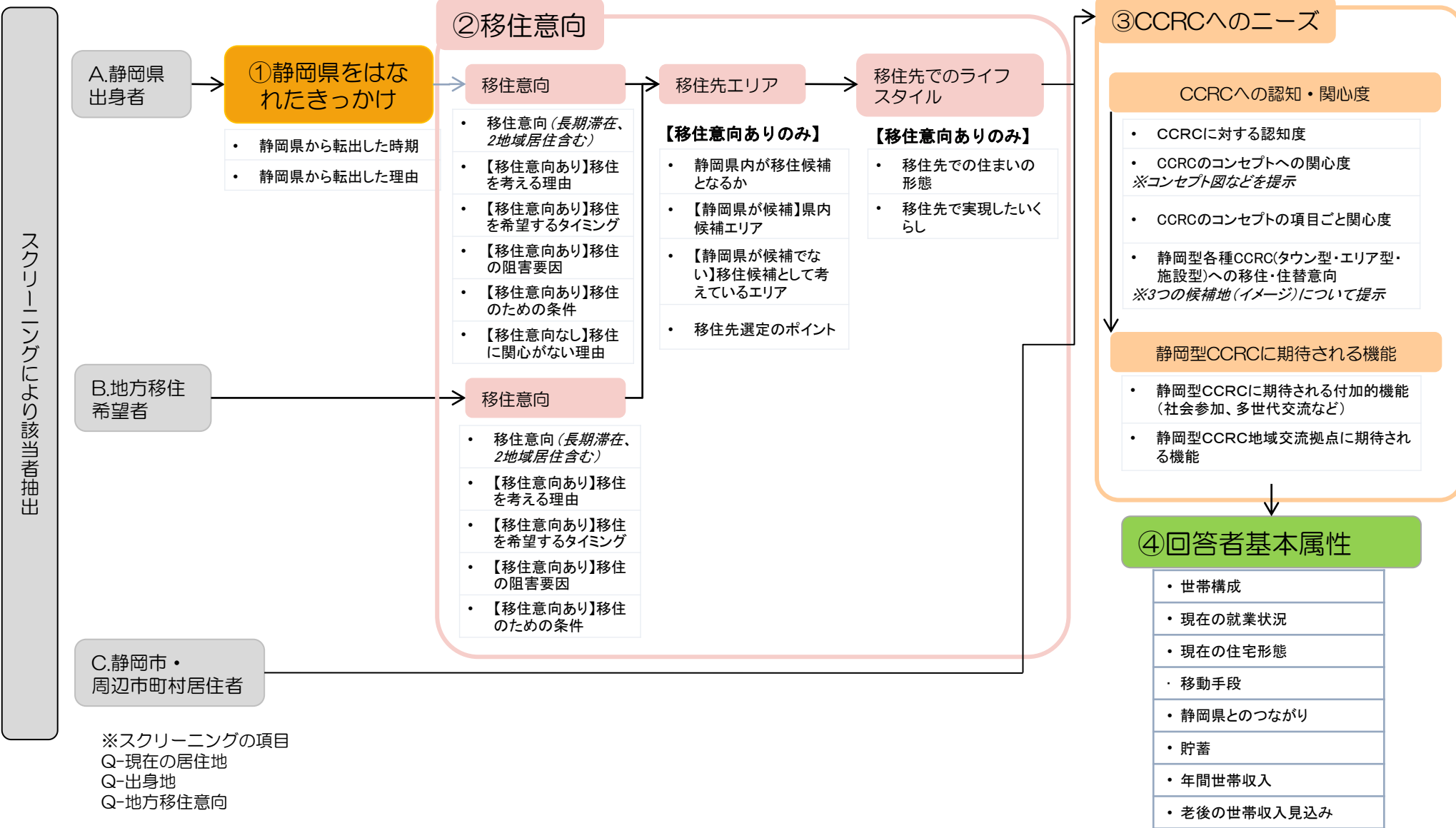
静岡型CCRCニーズ調査における調査対象のとりえ方について

- 静岡型CCRCに関心をもつ層として、以下の3分類を想定。
 - A静岡県出身者：東京圏・名古屋圏在住の静岡県出身者にUターンの可能性、Uターンの際の静岡型CCRCへの移住・2地域居住・長期滞在の可能性を把握。加えて、静岡県を転出した時期や経緯を把握。
 - B地方移住希望者：東京圏在住で首都圏近郊への地方移住・2地域居住・長期滞在意向がある層に対し、静岡県へのIターンの可能性を把握。
 - C静岡市・周辺市町村居住者：現在も静岡市および周辺に居住している層に対し、（静岡型）CCRCの認知度・関心度や住み替える可能性を把握。

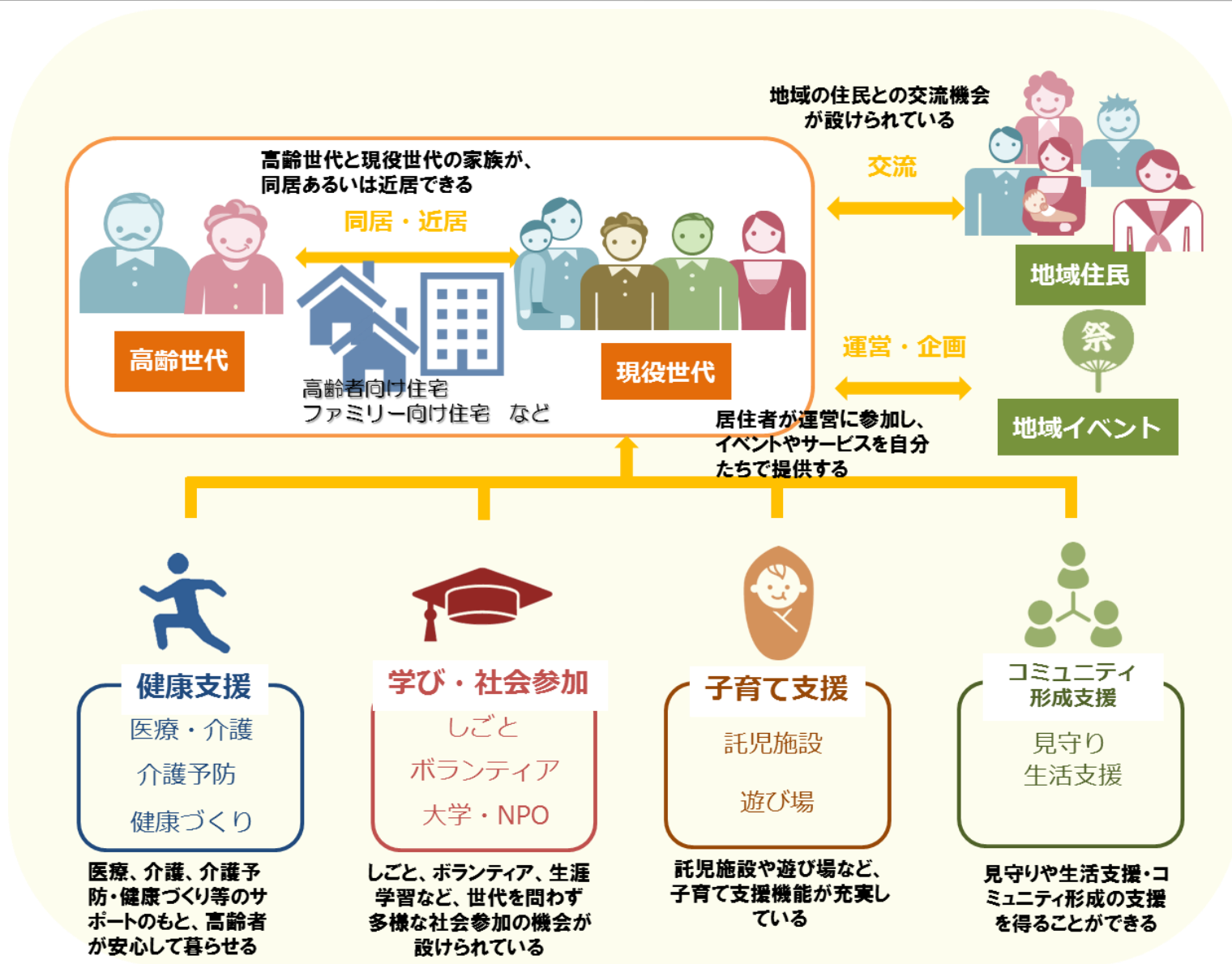
対象者属性	スクリーニング条件				
	現在の居住地	静岡県とのつながり	移住意向	年代	サンプル数
A. 静岡県出身者	東京圏（1都3県） または 名古屋圏（愛知、岐阜、 三重）	静岡県出身	-	20～60代	526 （性・年代別の構成に 配慮）
B. 地方移住希望者	東京圏（1都3県）	（A.静岡県出身者 除く）	首都圏近郊への地方 移住意向あり ※首都圏近郊： 群馬・栃木・茨城・ 山梨・静岡	50～60代	520 （性別の構成に配慮）
C. 静岡市・周辺市町 村居住者	静岡市 または 周辺市町村（※）	-	-	50～60代	312 （性別の構成に配慮）

（※）保健福祉圏域より、静岡市に隣接する志太榛原圏域（島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町）および富士（富士宮市、富士市）。

調査の全体の流れ



アンケートで提示したCCRCの説明図－全体像

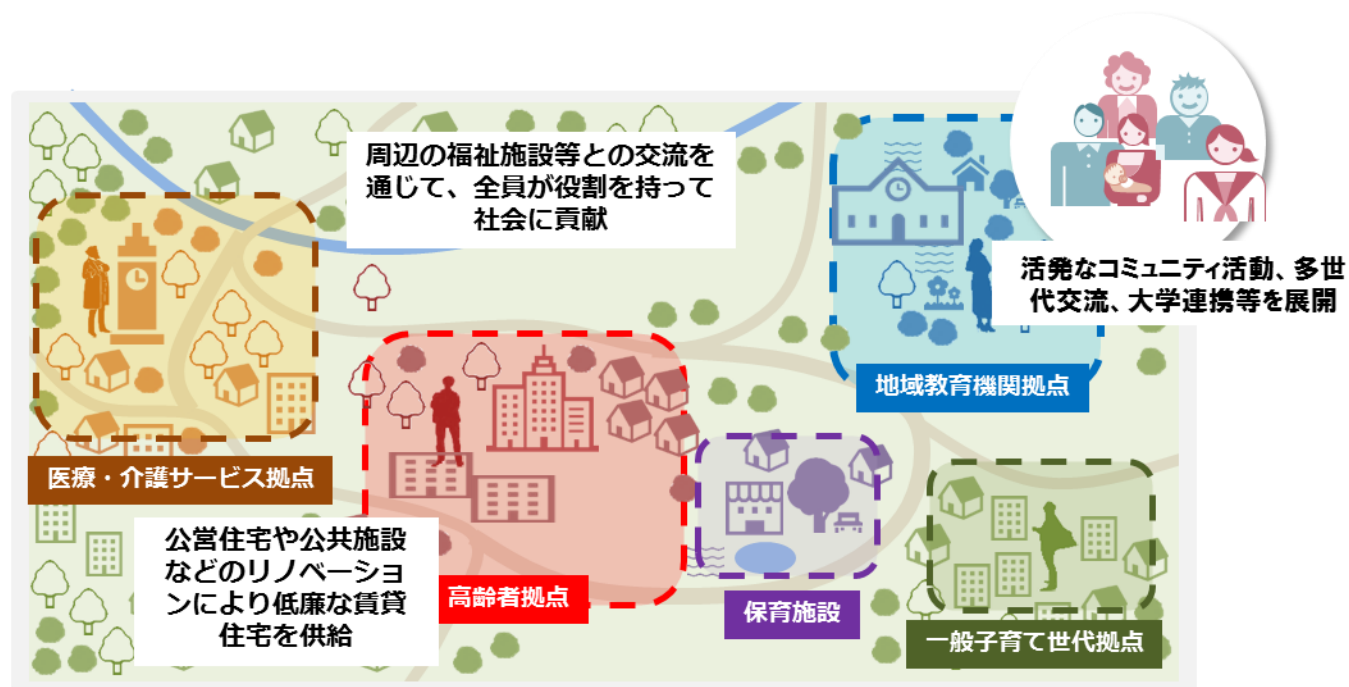


アンケートで提示したCCRCの説明図ータウン型CCRC

タウン型CCRCモデル

住宅地域の中で、地域と関わりを持ち、いつまでも元気に過ごせる。

- 立地の特徴
 - ・ 既成市街地の住宅地
 - ・ 市の中心駅へ通じるバス停までの交通アクセスが良い
 - ・ 大型商業施設の利用にも便利な立地
- 提供される住まい
 - ・ 公営住宅や公共施設などのリノベーションにより低廉な賃貸住宅を供給



アンケートで提示したCCRCの説明図ーエリア型CCRC

エリア型CCRCモデル

自然環境豊かな立地でのリゾート型のコミュニティ

- 立地の特徴
 - ・ 海や山など自然環境豊かな立地
 - ・ 周辺に観光資源が隣接するリゾート地

高齢者コアエリア



住宅施設

自分の心身を保ちながら、居住・滞在できる。



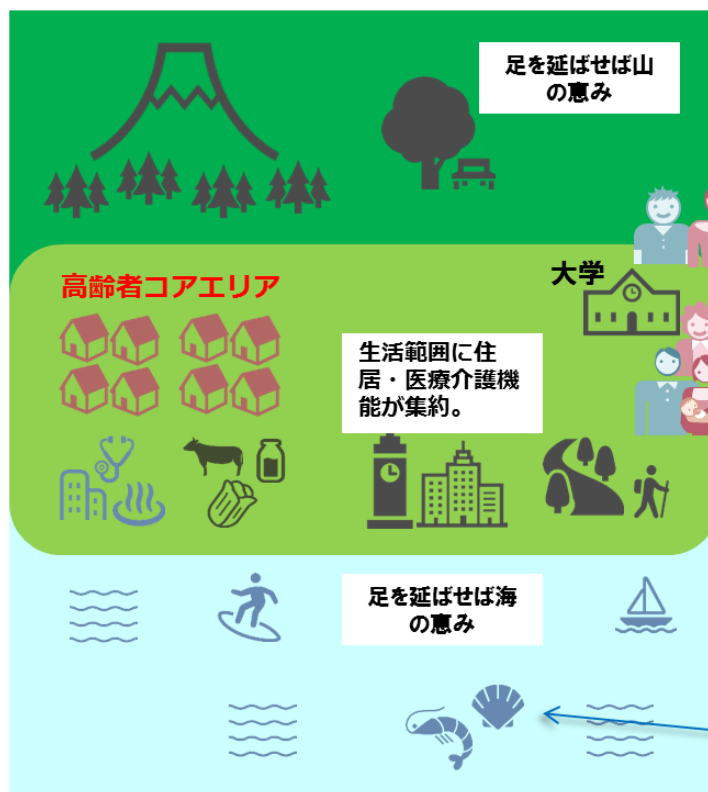
医療施設

機能回復から病気・介護予防のプログラムに参加できます。



趣味の実践

絵画・陶芸・菜園など生活空間を創造。



周りの環境

大学連携

科学的・文化的な知見を実践し健康増進を図る。

他地域との交流

自分らしく社会と関わり安心して暮らす。

スポーツ

地域のスポーツ施設でスポーツを楽しめる。地域のスポーツクラブのプログラムも受講可。

山と海の自然

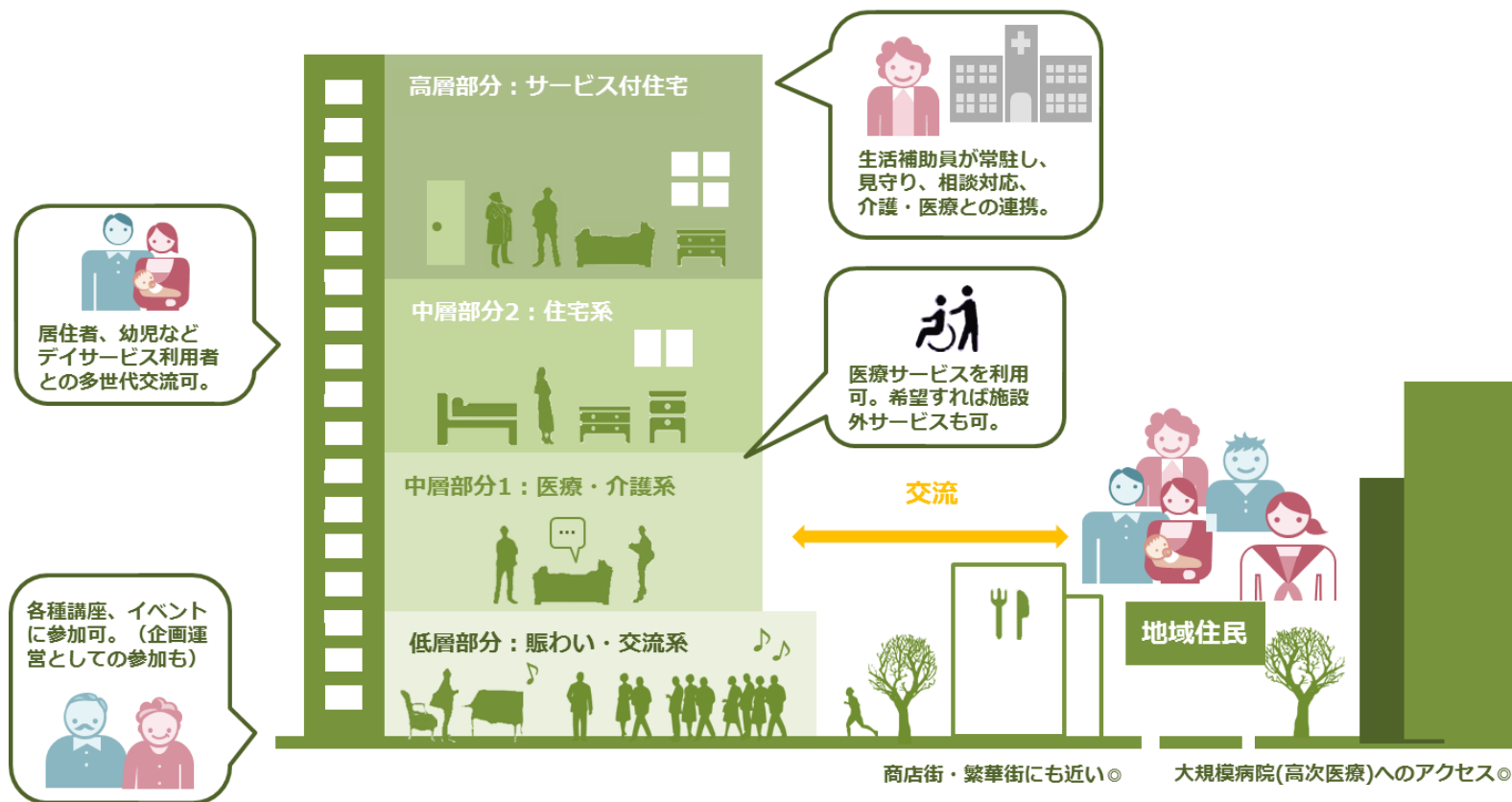
環境や持続可能な社会の実践を学ぶ。

アンケートで提示したCCRCの説明図ー施設型CCRC

施設型CCRCモデル

駅に隣接した都心の利便性高い立地での中高層複合施設

- 立地の特徴
 - ・ 新幹線停車駅に隣接した市街地
 - ・ 百貨店や商店街へのアクセスもよい
- 提供される住まい
 - ・ 中高層の複合施設CCRC（低層：健康、医療、介護； 中高層：賃貸住宅）



2) 調査結果

①出身者の転出状況（静岡県出身者）

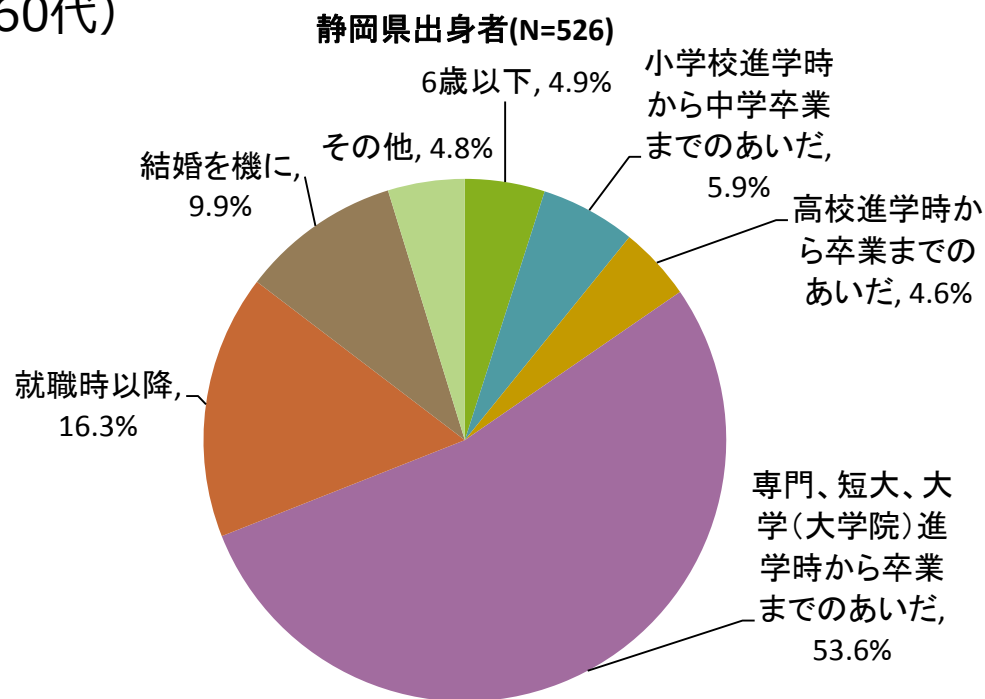
調査結果 ① 出身者の転出状況（静岡県出身者）

■ 静岡県からの転出の時期

A 静岡県出身者の半数以上が、「**専門、短大、大学（大学院）進学時から卒業までのあいだ**」に静岡県から転出している。

Q1 先日の事前調査で出身地が「静岡県」と回答した方におうかがいします。静岡県から初めて転出した時期はいつごろですか。あなたご自身の状況についてお答えください。

A 静岡県出身者（20～60代）



調査結果 ① 出身者の転出状況（静岡県出身者）

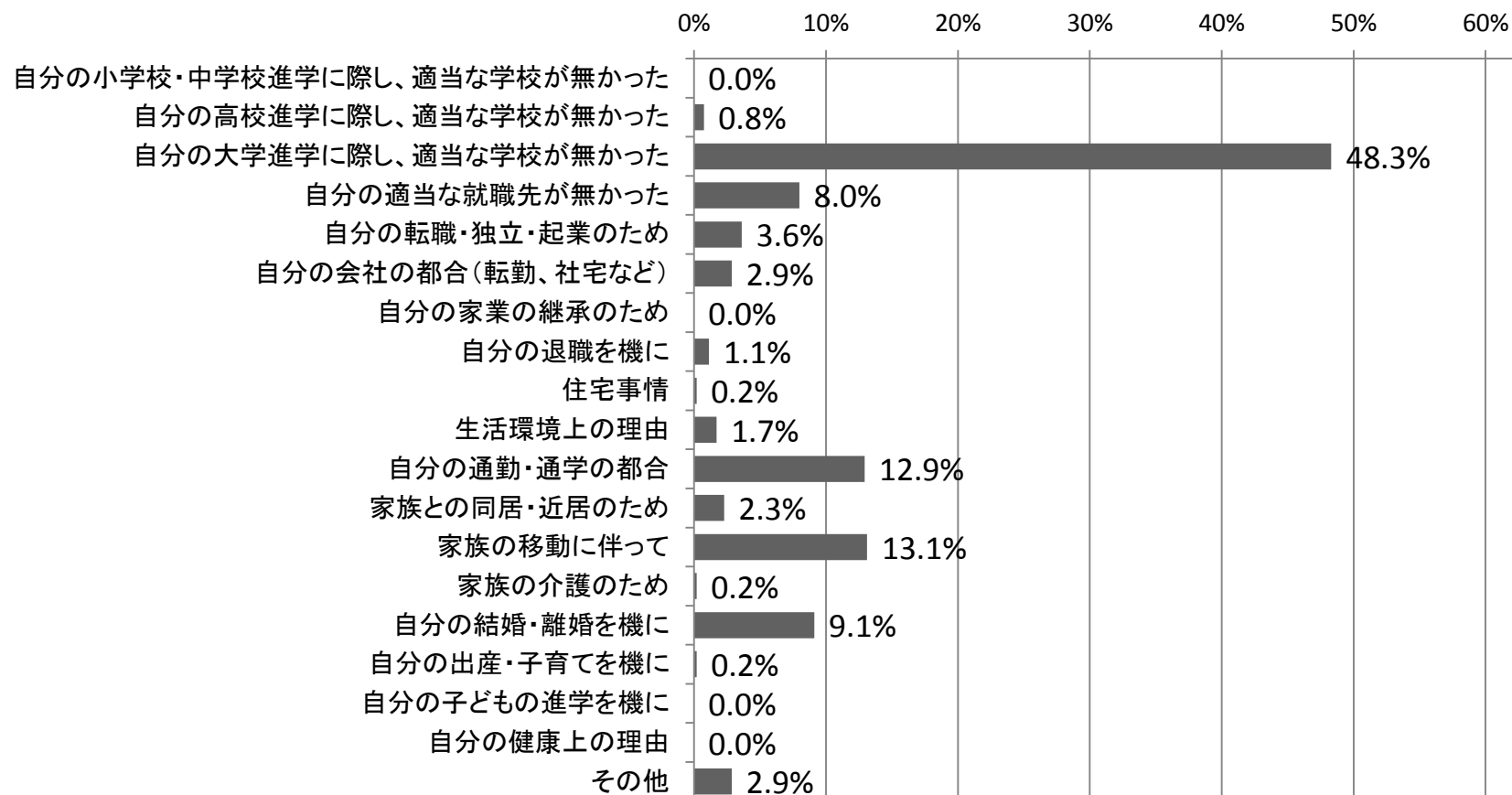
■ 静岡県から初めて転出した理由

問1の傾向と同様、「大学進学に際し、適切な学校が無かった」ため、転出したという回答が多かった。

Q2 引き続き、先日の事前調査で出身地が「静岡県」と回答した方におうかがいします。
あなたが静岡県から初めて転出した理由を教えてください。（いくつでも）

A 静岡県出身者（20～60代）

静岡県出身者(N=526)



調査結果 ① 出身者の転出状況（静岡県出身者）

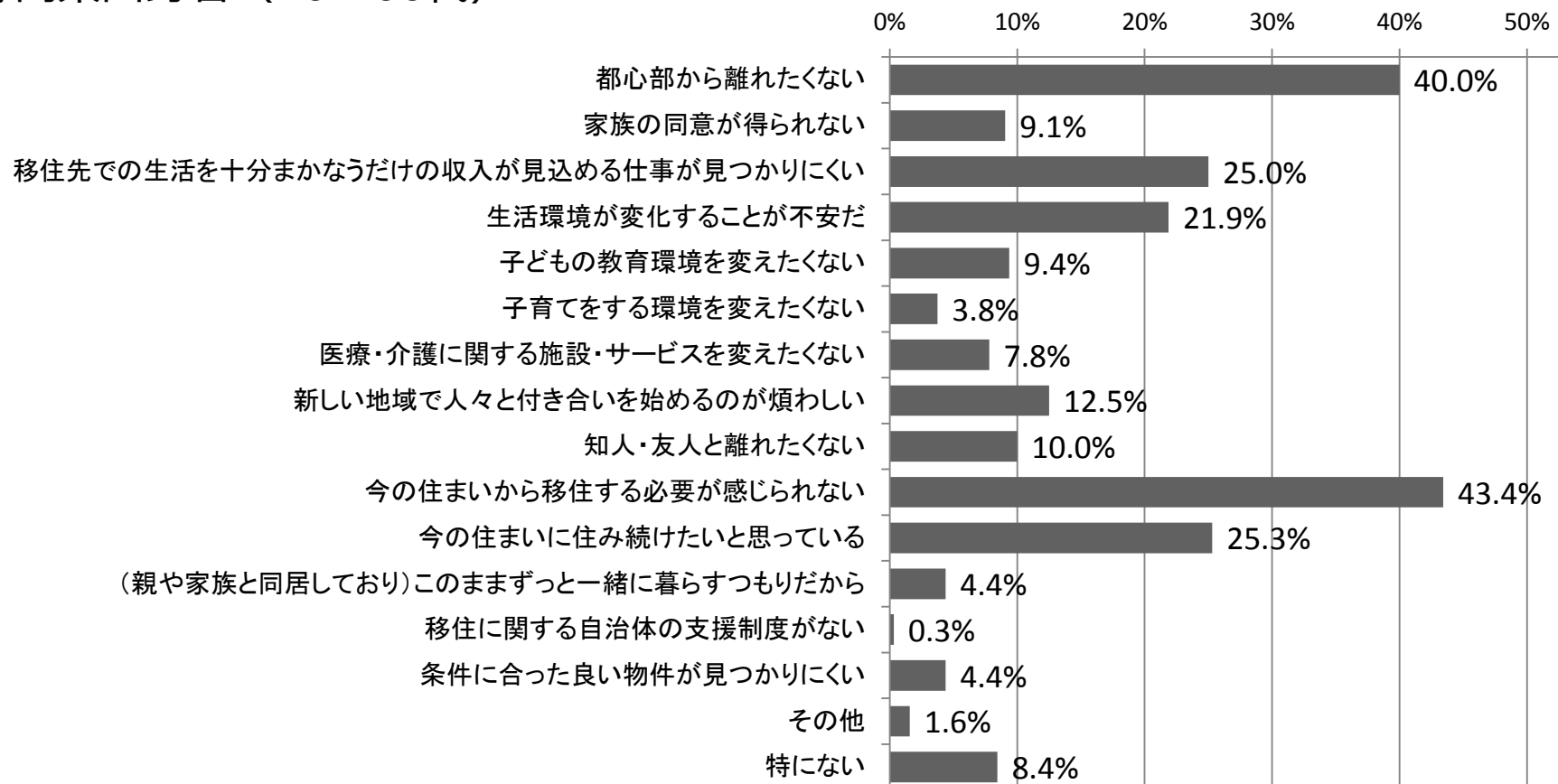
■ 地方移住・2地域居住・長期滞在を希望しない理由

A静岡県出身者で、移住・2地域居住・長期滞在をしていないし、検討したいとも思わない人では、「今の住まいから移住する必要が感じられない」や「都心部から離れたくない」という理由が、移住・2地域居住・長期滞在を検討しない理由として多い。

先日の事前調査で、地方移住・2地域居住・長期滞在について【移住・2地域居住・長期滞在をしていないし、検討したいとも思わない】と回答した方にお聞きます。地方移住・2地域居住・長期滞在を希望しない理由を教えてください。（いくつでも）

A静岡県出身者（20～60代）

静岡県出身者(N=320)



②地方移住等の意向

調査結果 ②地方移住等の意向

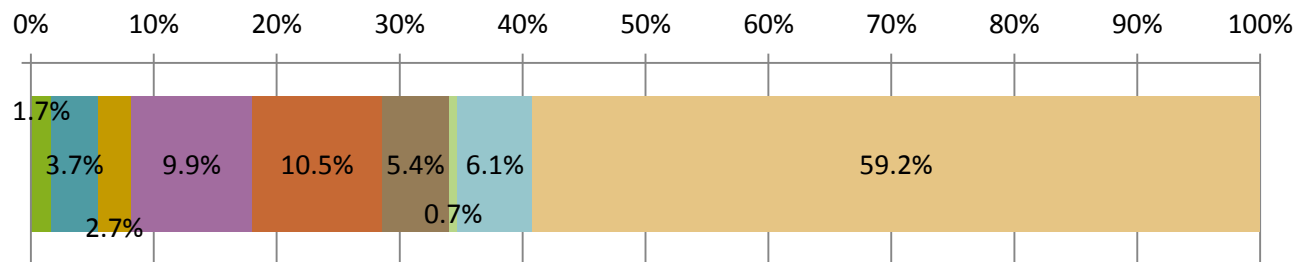
■ 地方移住・2地域居住・長期滞在の意向

A静岡県出身者のほうが、東京圏居住者（全体）と比較して、地方移住・2地域居住・長期滞をする予定・検討する人の割合が多く、約3割強。
（東京圏居住者の地方移住等の希望は約4分の1である。）

現在の居住地と比べて田舎・地方都市と感じるエリアに自ら（または同居する家族）の意志で移住・2地域居住・長期滞在したいと思いますか。この中から最も近いものをお答えください。ただし、ここでいう移住とは転勤の可能性があるなど、自らの意志ではない移住は含まれません。

A静岡県出身者（50～60代）

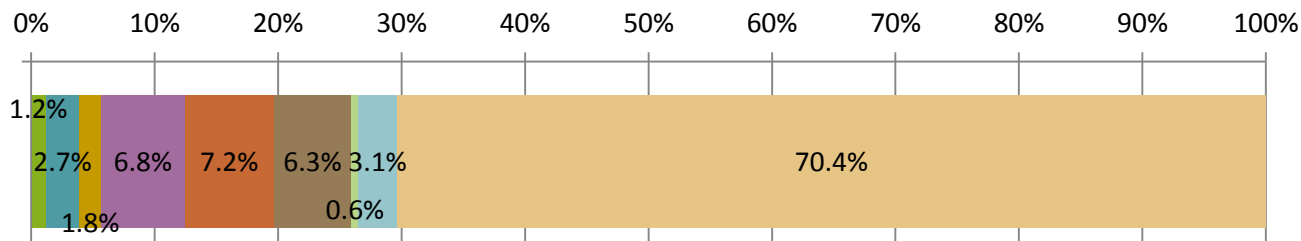
静岡県出身者・50～60代(N=294)



東京圏居住者 全体

※スクリーニング調査より、東京圏居住の50～60代

東京圏在住者・50～60代
(N=24878)



- 今後1年以内に移住する予定・検討したい
- 今後5年を目途に移住する予定・検討したい
- 今後10年を目途に移住する予定・検討したい
- 具体的な時期は決まっていないが、移住する予定・検討したい
- 2地域居住をしてみたい
- 長期滞在をしてみたい
- すでに移住・2地域居住・長期滞在をしているが、現在とは別のエリアへさらに移住・2地域居住・長期滞在する予定・検討したい
- すでに移住・2地域居住・長期滞在をしているため、検討したいと思わない
- 移住・2地域居住・長期滞在をしていないし、検討したいと思わない

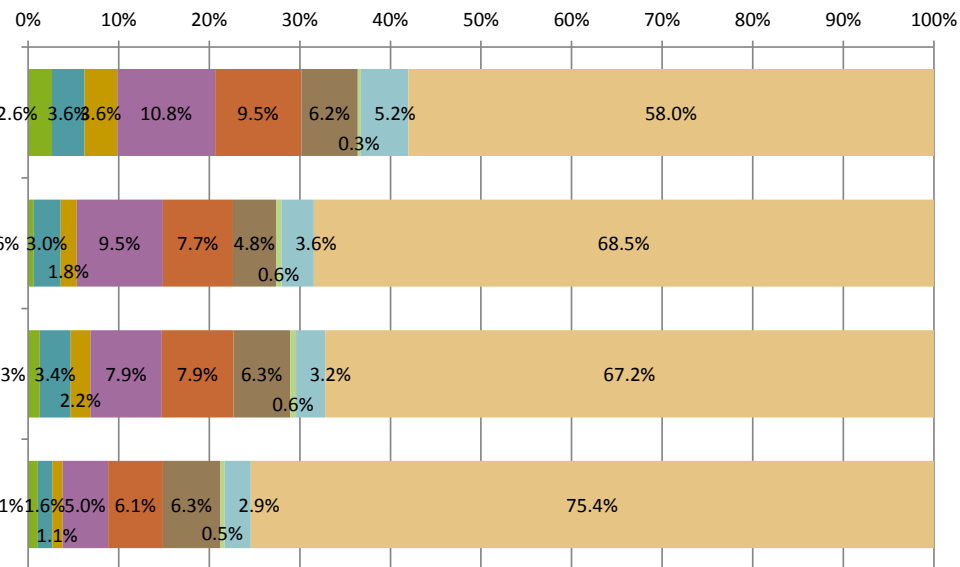
調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在の意向（性別）

前頁について、男女別で見ると、女性よりも男性の方が地方移住希望が高い。一方で、二地域居住・長期滞在については、男女差が小さくなる。

現在の居住地と比べて田舎・地方都市と感じるエリアに自ら（または同居する家族）の意志で移住・2地域居住・長期滞在したいと思いませんか。この中から最も近いものをお答えください。ただし、ここでいう移住とは転勤の可能性があるなど、自らの意志ではない移住は含まれません。

- 今後1年以内に移住する予定・検討したい
- 今後5年を目途に移住する予定・検討したい
- 今後10年を目途に移住する予定・検討したい
- 具体的な時期は決まっていないが、移住する予定・検討したい
- 2地域居住をしてみたい
- 長期滞在をしてみたい
- すでに移住・2地域居住・長期滞在をしているが、現在とは別のエリアへさらに移住・2地域居住・長期滞在する予定・検討したい
- すでに移住・2地域居住・長期滞在をしているため、検討したいと思わない
- 移住・2地域居住・長期滞在をしていないし、検討したいと思わない



	サンプル数	地方移住意向あり	2地域居住意向あり	長期滞在意向あり	既に地方移住・2地域居住・長期滞在	地方移住・2地域居住・長期滞在意向なし
a 静岡県出身者・男性50～60代	(N=305)	20.7%	9.5%	6.2%	0.3%	63.3%
b 静岡県出身者・女性50～60代	(N=168)	14.9%	7.7%	4.8%	0.6%	72.0%
c 東京圏在住者・男性50～60代	(N=15279)	14.8%	7.9%	6.3%	0.6%	70.4%
d 東京圏在住者・女性50～60代	(N=9599)	8.8%	6.1%	6.3%	0.5%	78.3%

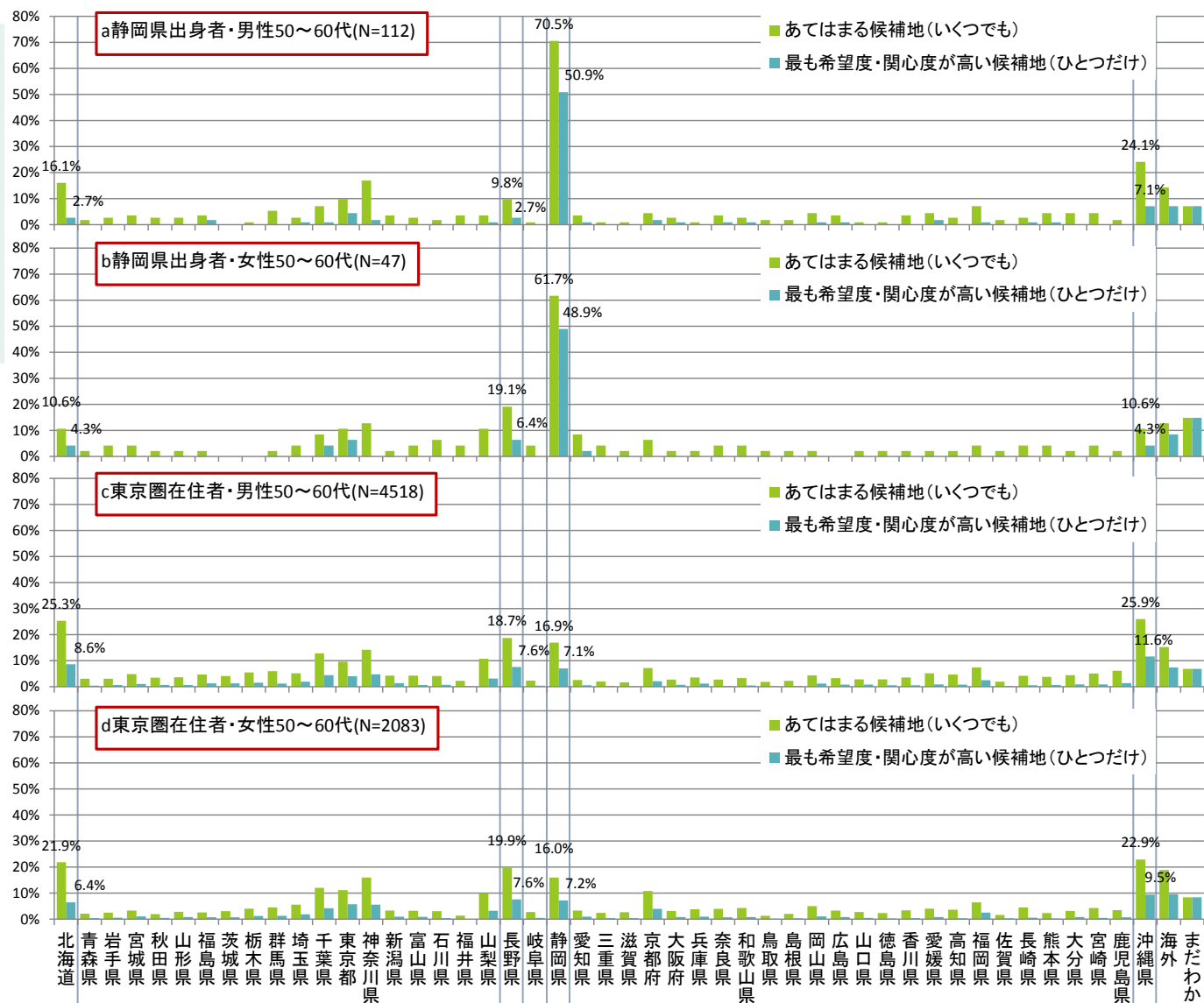
調査結果 ② 地方移住等の意向

東京圏在住者の地方移住・2地域居住・長期滞在の候補先

(サンプルは少ないが) 静岡県出身者のうち、地方移住等の意向がある人のうち、移住先の候補は「静岡県」を挙げる人が特に多く、男女ともに6～7割となる。

東京圏在住・50～60代全体では、沖縄、北海道、長野県に次いで、静岡県を選択する人の割合は多い。特に、**静岡県を「最も希望度・関心度が高い」と挙げる人は、地方移住等希望者の1割弱に達する。**

現時点で移住・2地域居住・長期滞在したい・関心がある地域はどこですか。最も希望度・関心度が高い候補地についてお答えください。



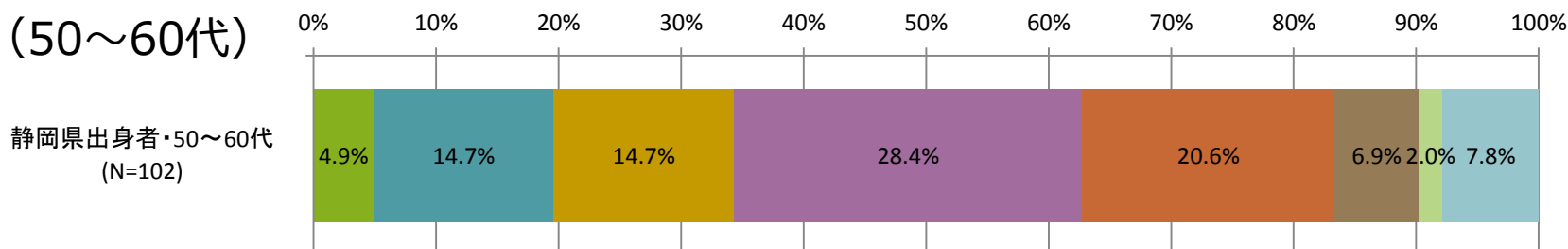
調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 静岡県内への地方移住、2地域居住、長期滞在の可能性

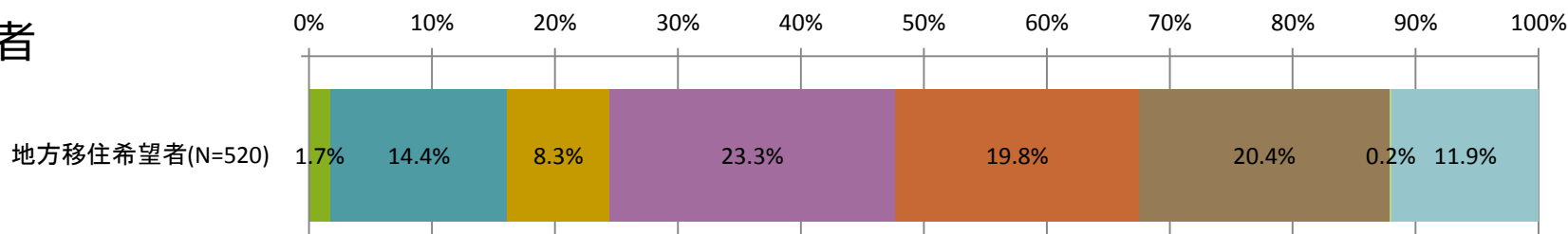
静岡県内への地方移住、2地域居住、長期滞在の可能性について、移住意向がある人（今後1年以内に移住する予定・検討したい～具体的な時期は決まっていないが、移住する予定・検討したい）はA静岡県出身者で62.7%、B地方移住希望者では47.7%だった。A静岡県出身者では、「具体的な時期は決まっていないが、移住する予定・検討したい」という回答がトップ。B地方移住希望者では「具体的な時期は決まっていないが、移住する予定・検討したい」や「2地域居住してみたい」という回答が多かった。

静岡県内への地方移住や2地域居住・長期滞在に関する希望・可能性について教えてください。
この中から最も近いものをお答えください。

A 静岡県出身者（50～60代）



B 地方移住希望者



- 今後1年以内に移住する予定・検討したい
- 2地域居住をしてみたい
- 今後5年を目途に移住する予定・検討したい
- 長期滞在をしてみたい
- 今後10年を目途に移住する予定・検討したい
- すでに静岡県内へ移住、2地域居住または長期滞在をしているので検討したいと思わない
- 具体的な時期は決まっていないが、移住する予定・検討したい
- 検討したいと思わない

調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 静岡市への移住希望（静岡県内での候補先）

静岡県内での地方移住・2地域居住・長期滞在希望エリアとして、「静岡市」をもっとも希望する人はA静岡県出身者では約22%、B地方移住希望者では約12%。またA静岡県出身者では「駿東田方」、「熱海伊東」、「西部」の人气が高く、B地方移住希望者では「熱海伊東」、「賀茂」、「駿東田方」といったエリアの人气が高かった。

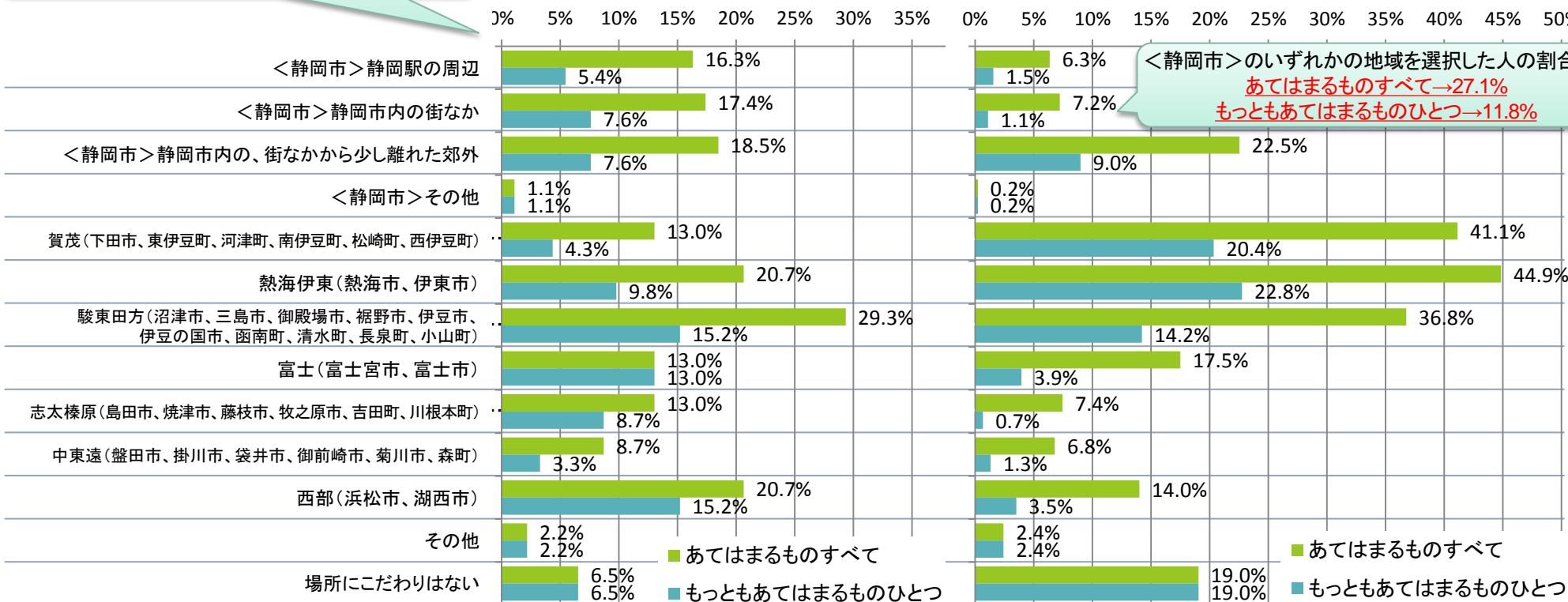
静岡県移住希望者のうち、静岡市を候補の一つとしている人の割合は3~4割。A静岡県出身者に、静岡市への移住意向が強い。

静岡県内での地方移住・2地域居住・長期滞在先として考えているエリアについてあてはまるものをすべて教えてください。また、その中からもっともあてはまるものをひとつお答えください。【あてはまるもの（いくつでも）】

＜静岡市＞のいずれかの地域を選択した人の割合は、
あてはまるものすべて→34.8%
もっともあてはまるものひとつ→21.7%

A静岡県出身者（50～60代）
静岡県出身者・50～60代(N=92)

B地方移住希望者
地方移住希望者(N=457)



＜静岡市＞のいずれかの地域を選択した人の割合は、
あてはまるものすべて→27.1%
もっともあてはまるものひとつ→11.8%

調査結果 ② 地方移住等の意向

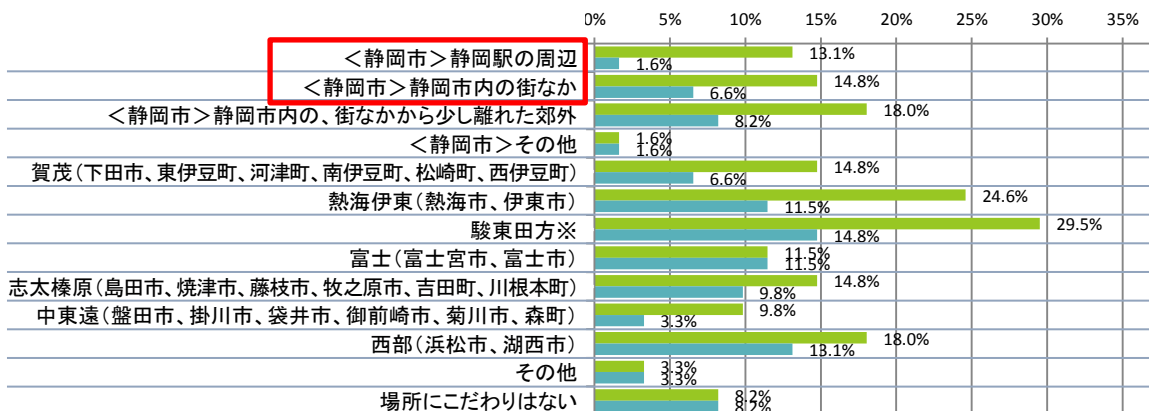
■ 静岡市への移住希望（静岡県内での候補先）（男女別）

「B地方移住希望者」のうち、「静岡県への移住意向がある人」は男性<女性である。その傾向が顕著な項目では、男性より女性のほうが「静岡駅の周辺」「静岡市内の街なか」を選択する割合（あてはまるものすべて）は、5%以上高い。

静岡県内での地方移住・2地域居住・長期滞在先として考えているエリアについてあてはまるものをすべて教えてください。また、その中からもっともあてはまるものをひとつお答えください。
【あてはまるもの（いくつでも）】

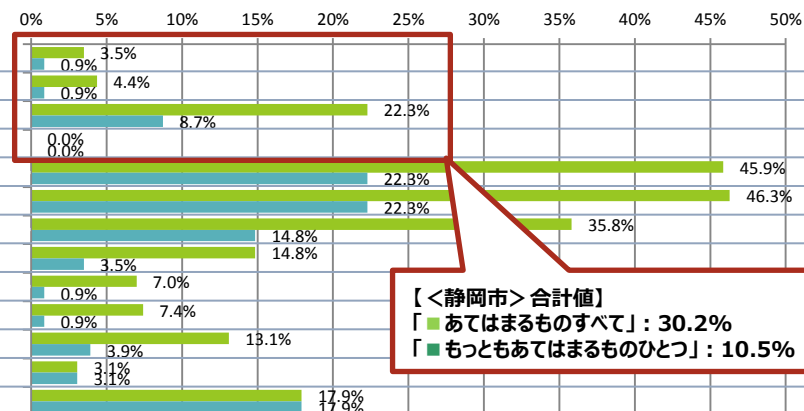
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・男性・50～60代(N=61)



B 地方移住希望者

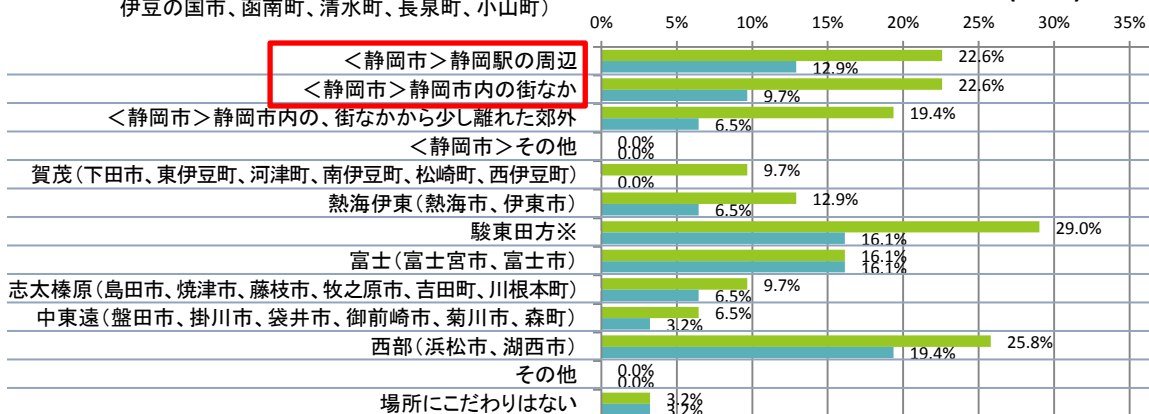
地方移住希望者:男性(N=229)



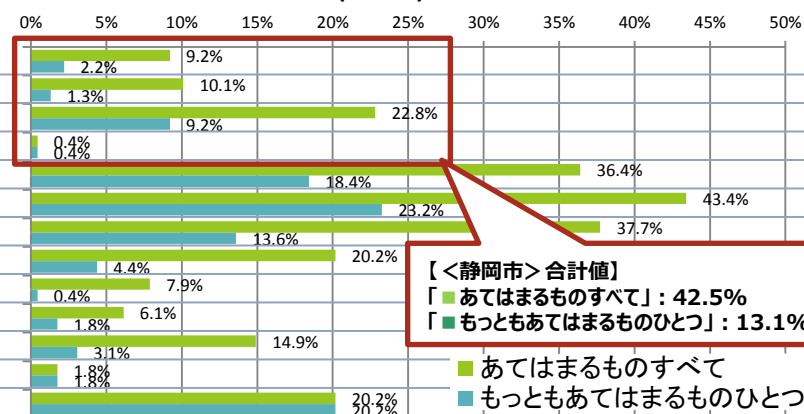
【<静岡市> 合計値】
 「あてはまるものすべて」：30.2%
 「もっともあてはまるものひとつ」：10.5%

※駿東地方(沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町)

静岡県出身者・女性・50～60代(N=31)



地方移住希望者:女性(N=228)



【<静岡市> 合計値】
 「あてはまるものすべて」：42.5%
 「もっともあてはまるものひとつ」：13.1%

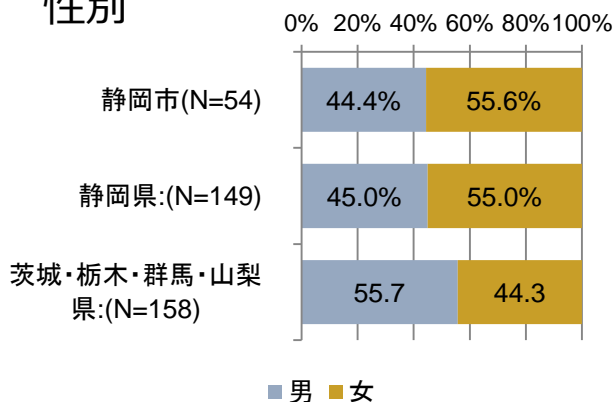
■ あてはまるものすべて
 ■ もっともあてはまるものひとつ

調査結果 ②地方移住等の意向

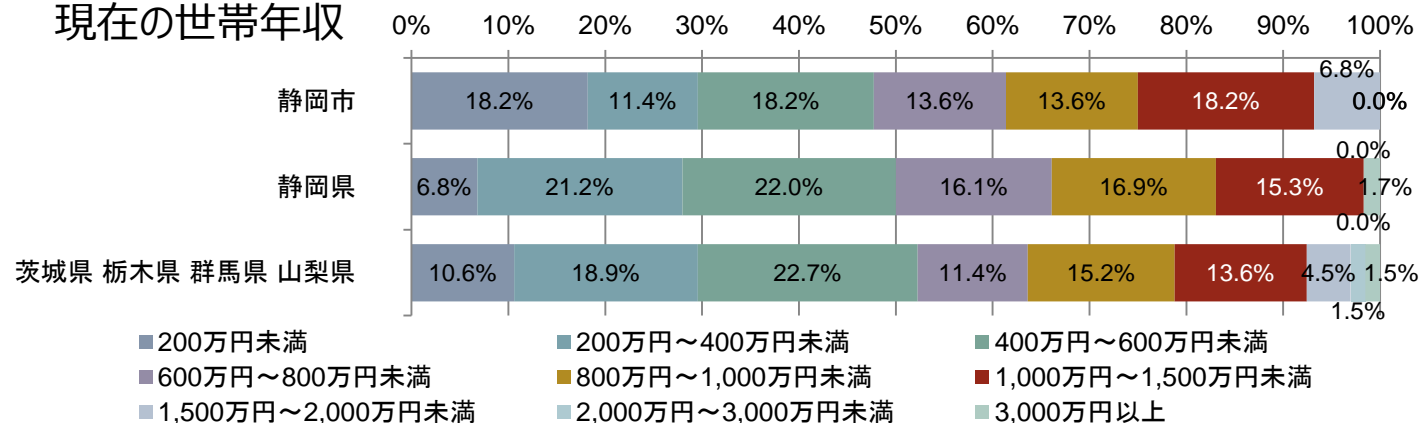
■静岡市への移住希望（静岡県内での候補先）（属性の特徴）

移住の候補先として「静岡市」を最も希望する属性の特徴を明らかにするため、東京圏在住の地方移住希望者（50～60代）のうち、「静岡市選択者」「静岡県選択者」「茨城・栃木・群馬・山梨」を最も希望する属性で比較すると、静岡市は女性の割合が高く、また現在の世帯年収が1000万円以上、老後の世帯年収見込みは400万円以上とする、比較的裕福な層が多い。

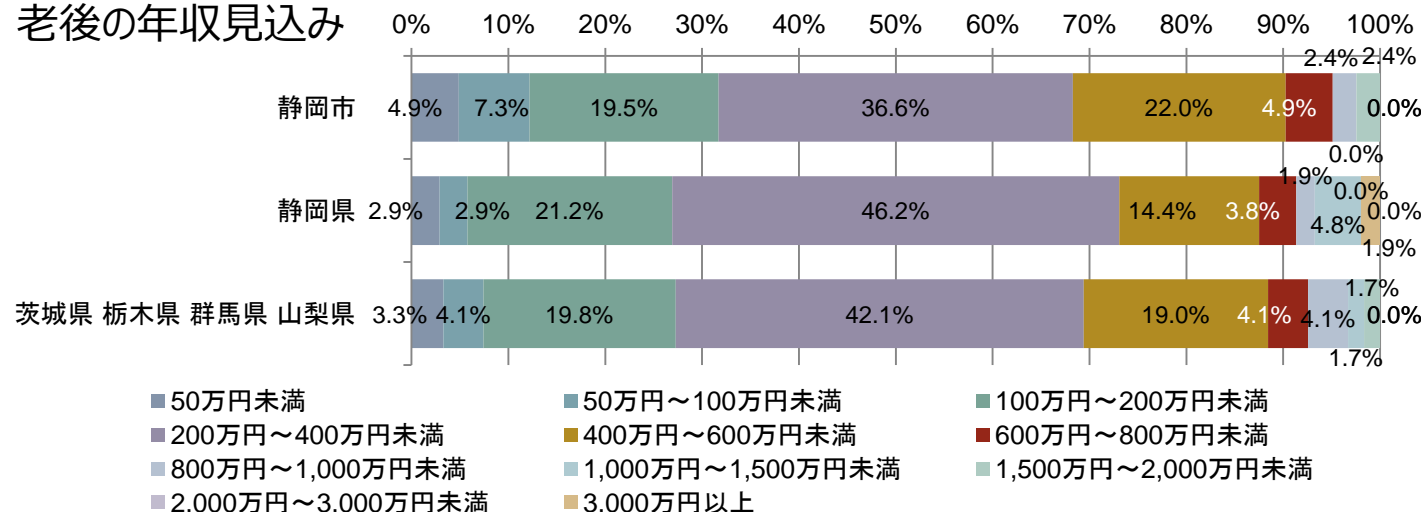
性別



現在の世帯年収



老後の年収見込み



調査結果 ② 地方移住等の意向

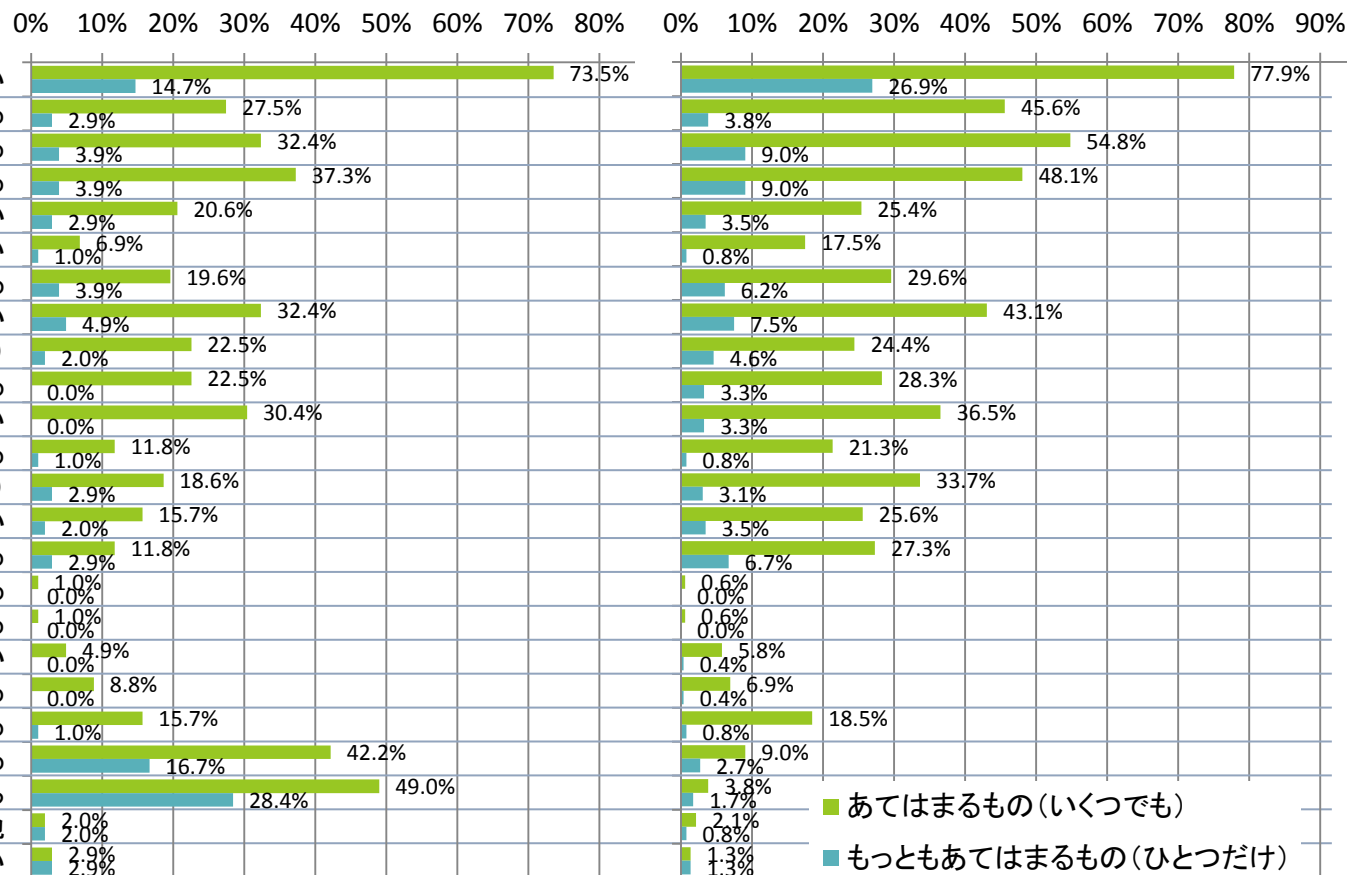
■ 地方移住・2地域居住・長期滞在先の選定ポイント

地方移住・2地域居住・長期滞在先の選定ポイントとして、A静岡県出身者では「**気候がよい**」や「**生まれ育った場所があるから**」といった理由が多く、B地方移住希望者では「**気候がよい**」や「**山・海での自然環境を楽しめる**」という理由が多かった。

もっとも希望する地方移住・2地域居住・長期滞在先の選定ポイントについてあてはまるものをすべて教えてください。
また、その中からもっともあてはまるものをひとつお答えください。

A 静岡県出身者 (50～60代)
静岡県出身者・50～60代(N=102)

B 地方移住希望者
地方移住希望者(N=520)



調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在先の選定ポイント

「静岡市を希望」と「茨城・栃木・群馬・山梨を希望」の集計結果を比較する。「気候がよい」「都心へのアクセスがよい」の2項目はほぼ同じ傾向が見られた。異なる傾向が見られた項目（10%以上差）は、「山での自然環境が楽しめる」「農業や家庭菜園ができる」の項目は「茨城・栃木・群馬・山梨」より「静岡市」の方が低い一方、「街のイメージが良い」「商業施設が整備されており買い物に不便しない」の項目は静岡市の方が高い。

もっとも希望する地方移住・2地域居住・長期滞在先の選定ポイントについてあてはまるものをすべて教えてください。また、その中からもっともあてはまるものをひとつお答えください。

静岡市を希望（50～60代）

静岡市を希望・50～60代(N=74)

茨城・栃木・群馬・山梨を希望（50～60代）

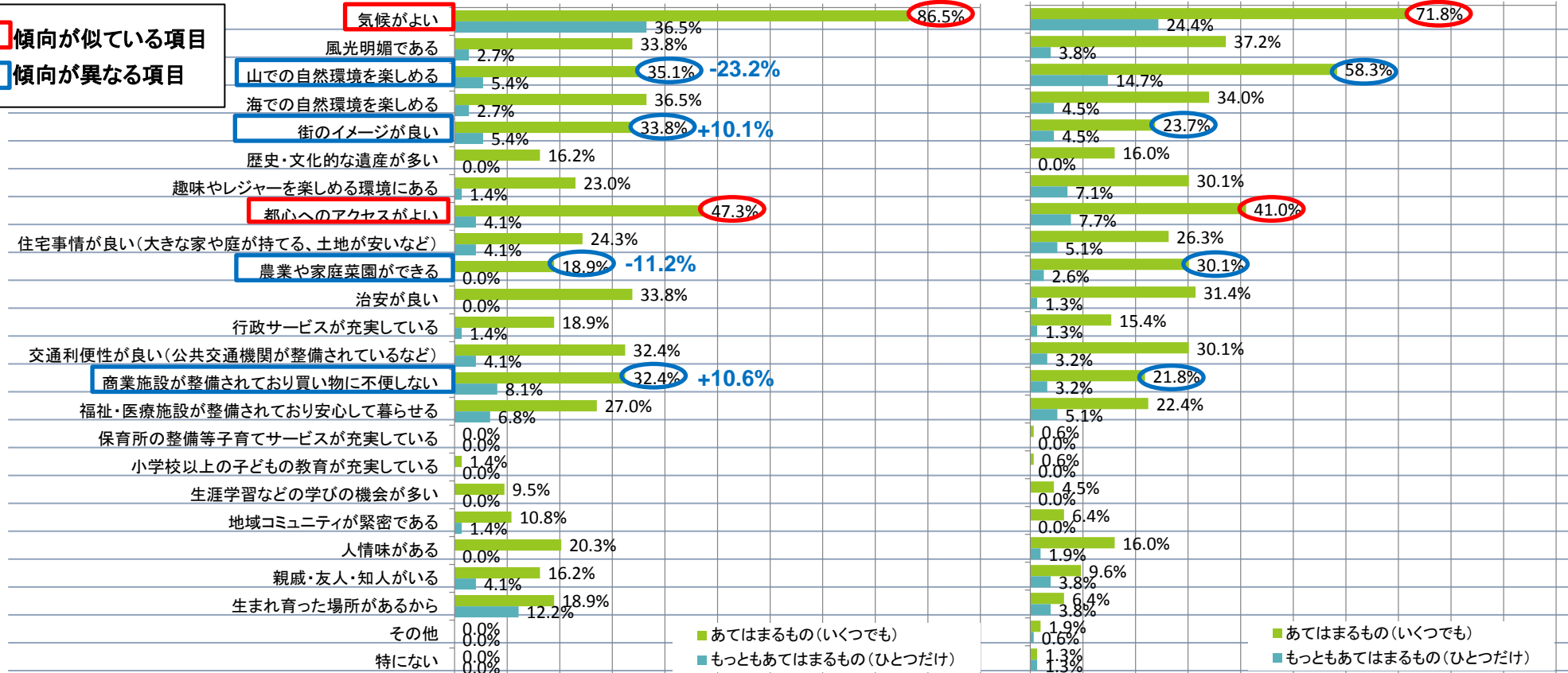
茨城・栃木・群馬・山梨県を希望・50～60代(N=156)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

□ 傾向が似ている項目

□ 傾向が異なる項目



調査結果 ②地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在を希望する理由

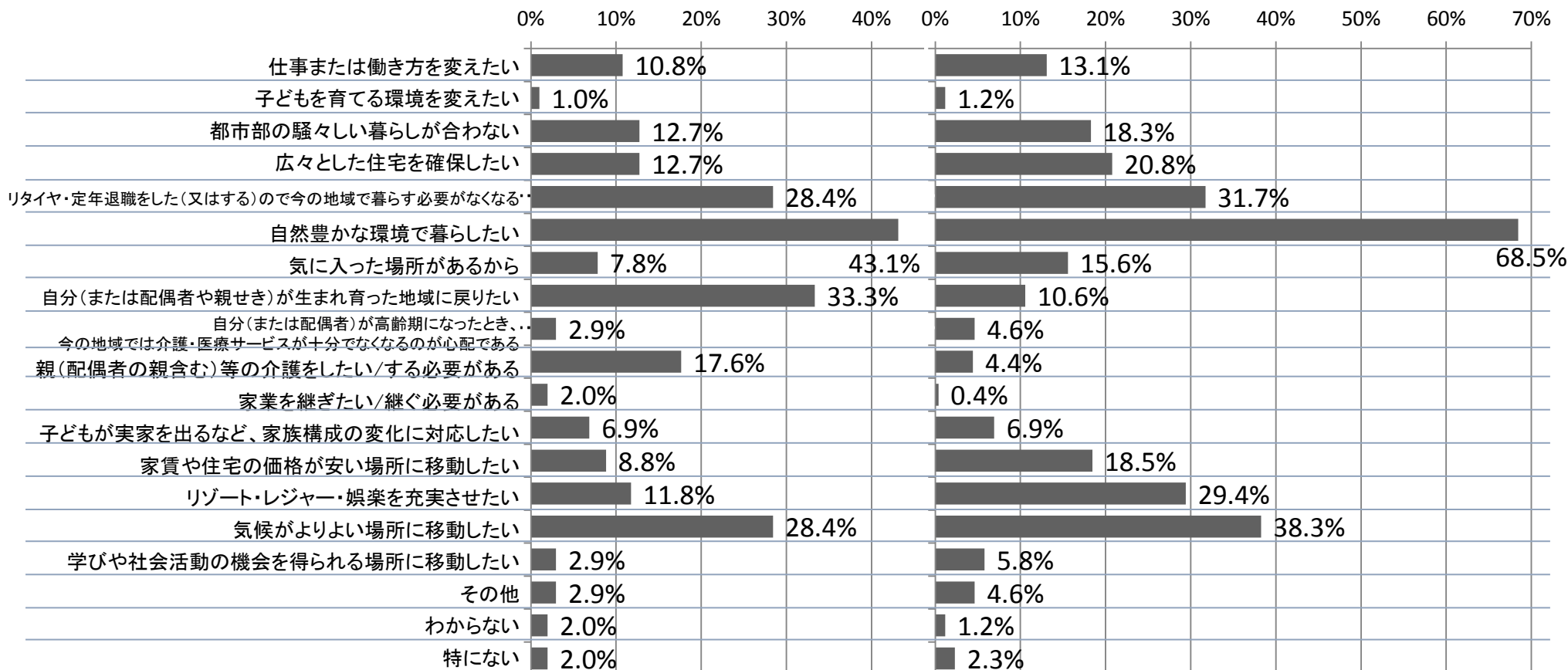
A静岡県出身者では「自然豊かな環境で暮らしたい」、「自分（または配偶者や親せき）が生まれ育った地域に戻りたい」、B地方移住希望者では「自然豊かな環境で暮らしたい」、「気候がよりよい場所に移動したい」が、地方移住・2地域居住・長期滞在を希望する理由として多かった。

地方移住・2地域居住・長期滞在を希望する理由についてあてはまるものをすべて教えてください。

A静岡県出身者（50～60代） B地方移住希望者

静岡県出身者・50～60代(N=102)

地方移住希望者(N=520)



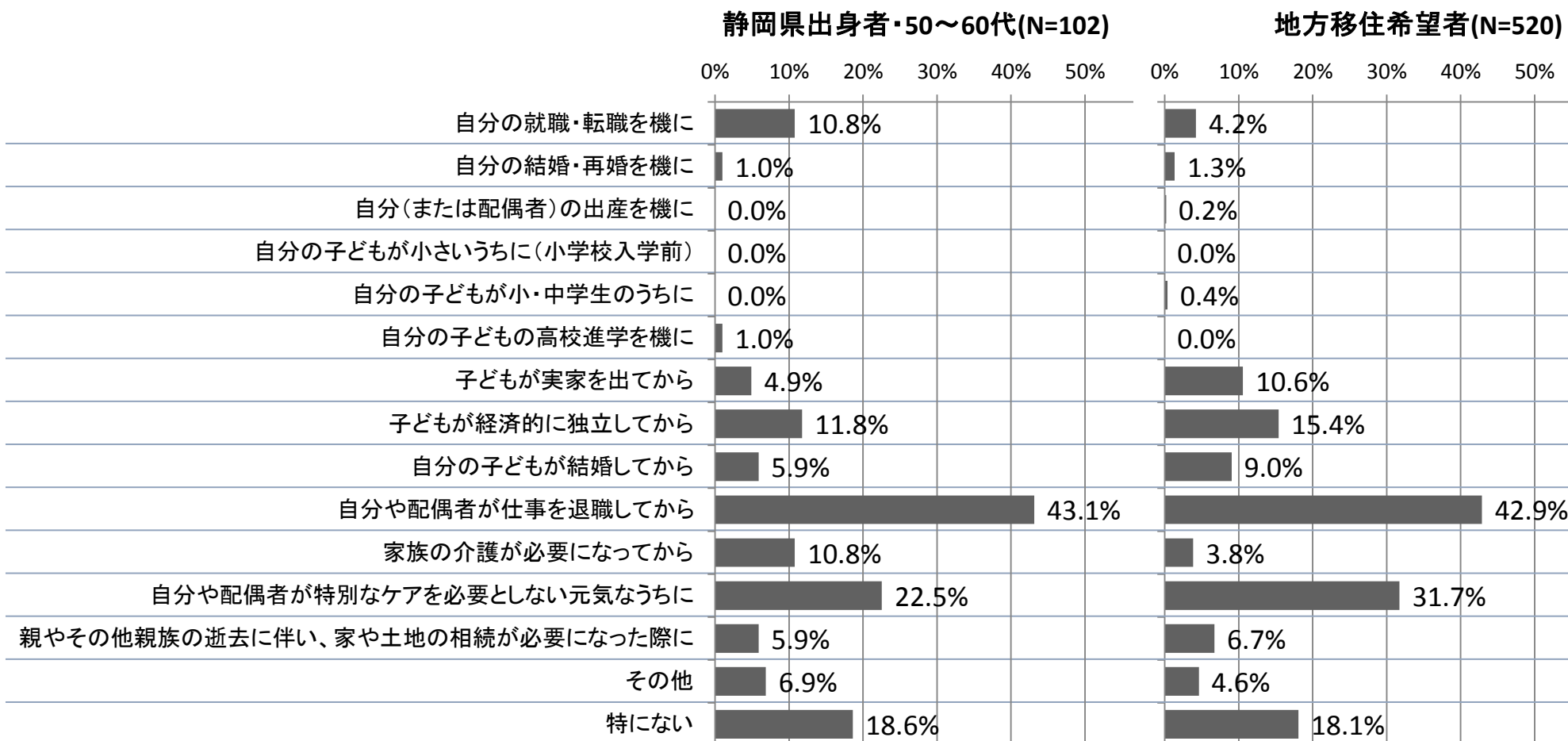
調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在のタイミング

A 静岡県出身者では「自分や配偶者が仕事を退職してから」がトップ。B 地方移住希望者では「自分や配偶者が仕事を退職してから」のほか、「自分や配偶者が特別なケアを必要としない元気なうちに」という希望も多い。

地方移住・2地域居住・長期滞在を希望するタイミングとしてあてはまるものをすべて教えてください。

A 静岡県出身者 (50～60代) B 地方移住希望者



調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在に際して不安な点

A 静岡県出身者では「仕事が見つかりにくい」という回答がトップ。

B 地方移住希望者では「医療・介護に関する施設・サービスが充実していない」「条件に合った良い物件が見つかりにくい」「知り合いがいない」が回答として多い。

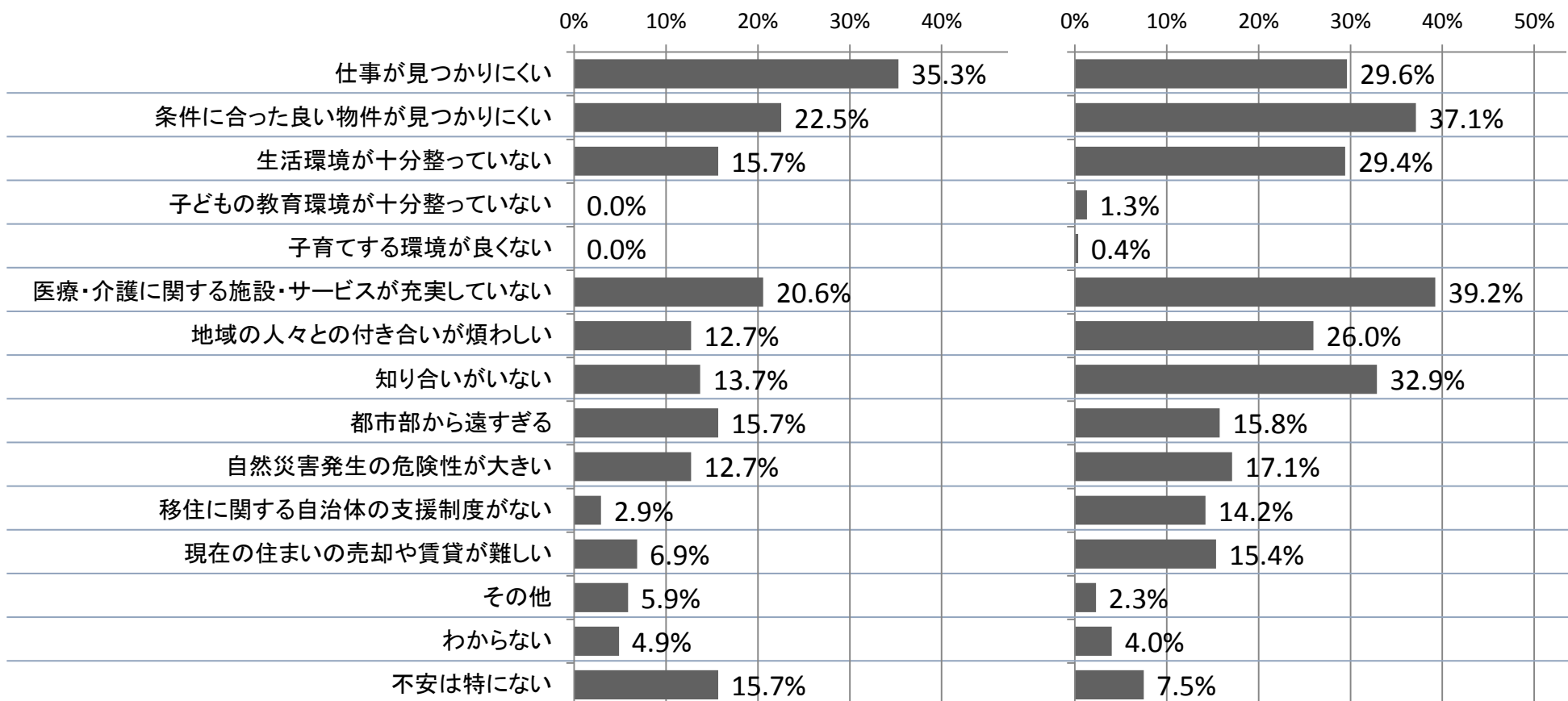
希望地域への地方移住・2地域居住・長期滞在に際して不安な点を教えてください。
(いくつでも)

A 静岡県出身者 (50～60代)

静岡県出身者・50～60代(N=102)

B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在に際して不安な点

「静岡市を希望」と「茨城・栃木・群馬・山梨を希望」で共に回答が多いのは「仕事が見つかりにくい」「条件に合った物件が見つかりにくい」「医療・介護に関する施設・サービスが充実していない」「知り合いがいない」の項目である。一方、傾向が異なる項目に着目すると（10%以上差がついた項目）「自然災害の危険性が大きい」については、「静岡市を希望」の回答率が「茨城・栃木・群馬・山梨を希望」が大きく上回る。

希望地域への地方移住・2地域居住・長期滞在に際して不安な点を教えてください。（いくつでも）

静岡市を希望（50～60代）

静岡市を希望・50～60代(N=74)

茨城・栃木・群馬・山梨を希望（50～60代）

茨城・栃木・群馬・山梨県を希望・50～60代(N=156)

0% 10% 20% 30% 40% 0% 10% 20% 30% 40% 50%

仕事が見つかりにくい

33.8%

28.8%

条件に合った良い物件が見つかりにくい

31.1%

33.3%

生活環境が十分整っていない

27.0%

28.2%

子どもの教育環境が十分整っていない

2.7%

1.3%

子育てする環境が良くない

1.4%

0.6%

医療・介護に関する施設・サービスが充実していない

32.4%

35.3%

地域の人々との付き合いが煩わしい

27.0%

26.3%

知り合いがいない

33.8%

30.1%

都市部から遠すぎる

17.6%

15.4%

自然災害発生危険性が大きい

23.0% **+11.5%**

11.5%

移住に関する自治体の支援制度がない

13.5%

15.4%

現在の住まいの売却や賃貸が難しい

13.5%

12.2%

その他

1.4%

0.6%

わからない

2.7%

2.6%

不安は特にない

6.8%

8.3%

□ 傾向が似ている項目

□ 傾向が異なる項目

調査結果 ②地方移住等の意向

■どの理由が無くなれば、地方移住・2地域居住・長期滞在に向けた検討の後押しになるか

A 静岡県出身者では「**仕事が見つかりにくい**」という不安が無くなれば検討の後押しとなる、という回答がトップ。B 地方移住希望者では「**医療・介護に関する施設・サービスが充実していない**」という不安が無くなれば検討の後押しとなる、という回答がトップ。

前問での回答のうち、どの理由が無くなれば、地方移住・2地域居住・長期滞在に向けた検討の後押しになりそうですか。あてはまるものをすべて教えてください。

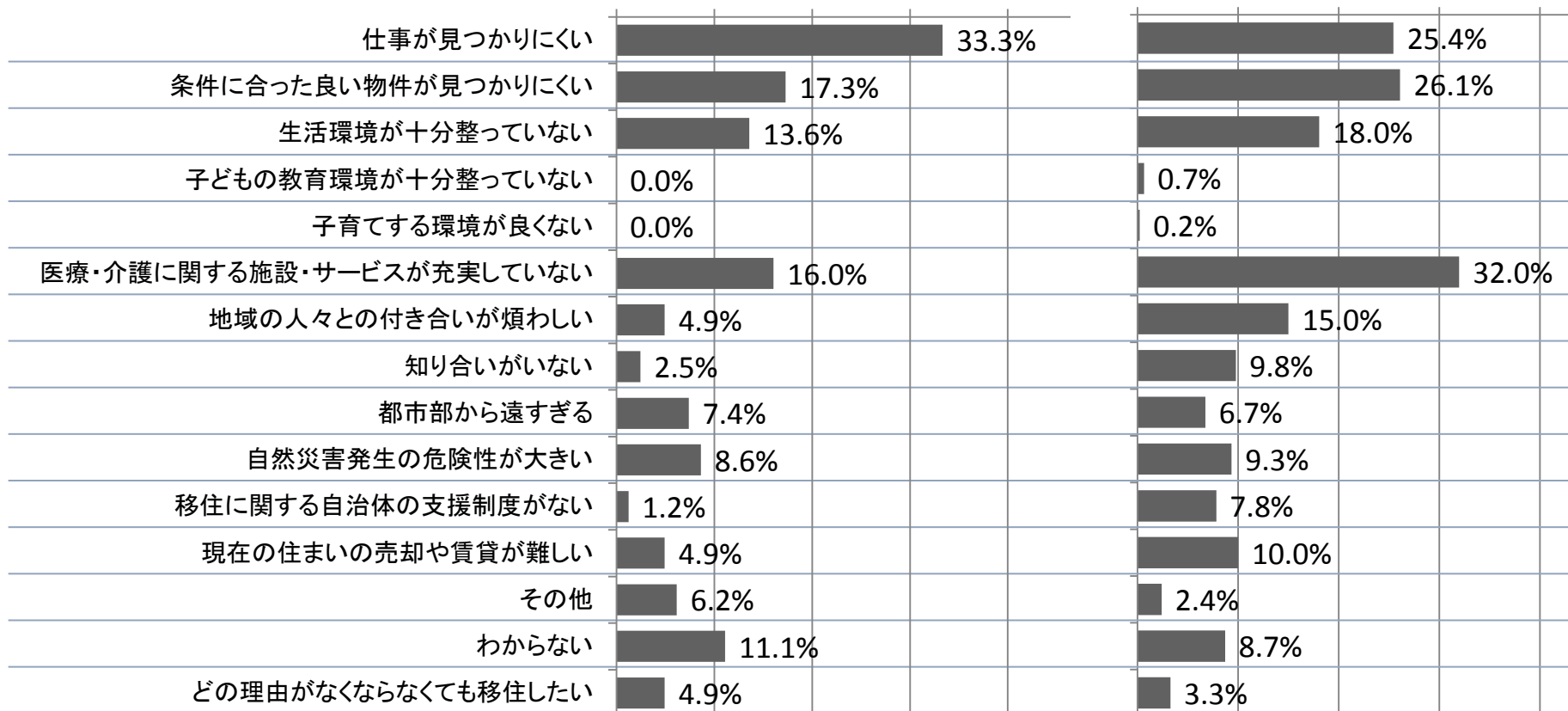
A 静岡県出身者 (50～60代)

B 地方移住希望者

静岡県出身者・50～60代(N=81)

地方移住希望者(N=460)

0% 10% 20% 30% 40%

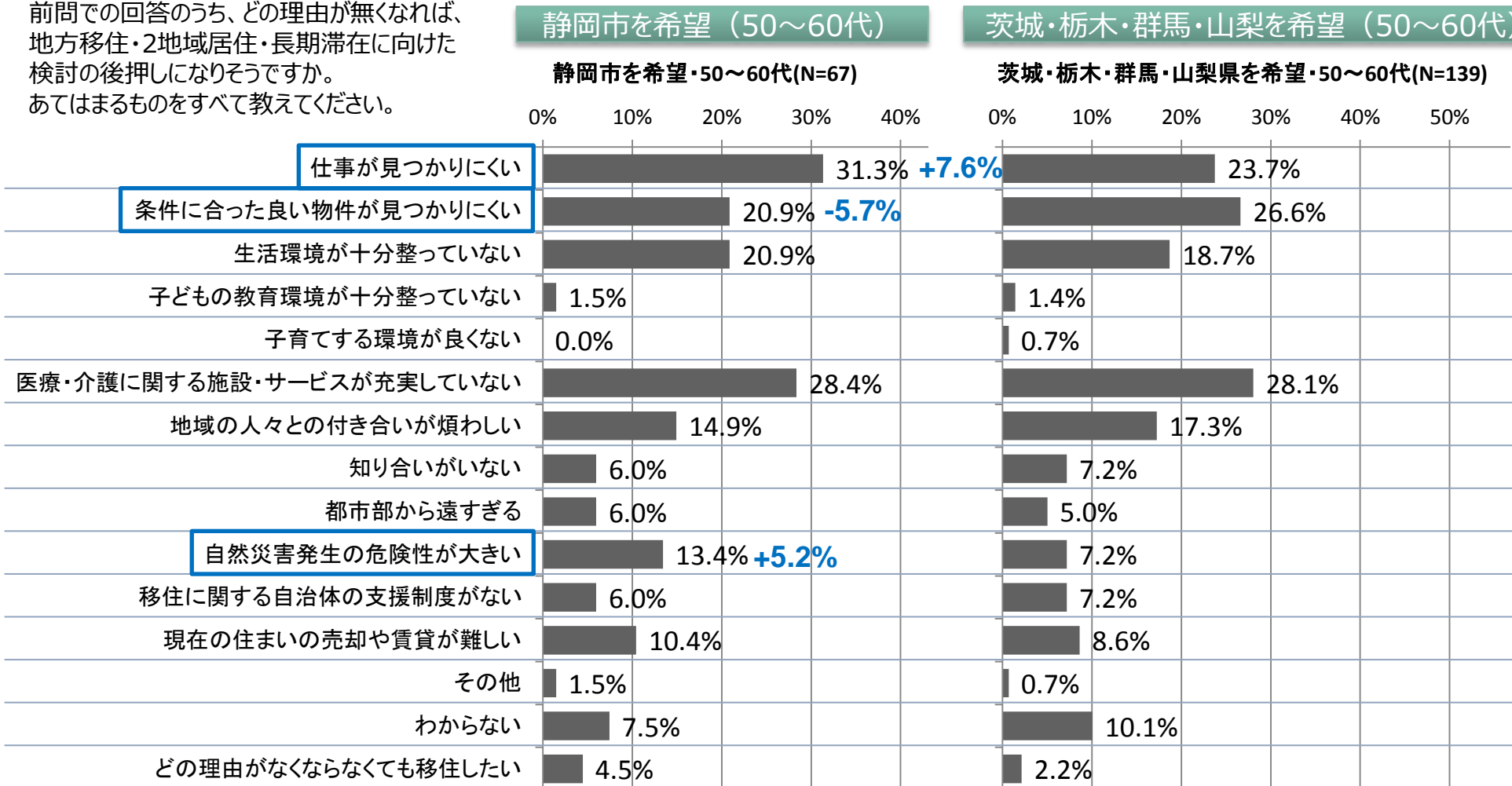


調査結果 ② 地方移住等の意向

■ どの理由が無くなれば、地方移住・2地域居住・長期滞在に向けた検討の後押しになるか

「静岡市を希望」と「茨城・栃木・群馬・山梨を希望」を比べて差がついた項目として（5%以上差）、静岡市の方が「仕事が見つかりにくい」「自然災害発生の危険性が大きい」課題がある。一方で静岡市より、茨城・栃木・群馬・山梨の方が「条件に合った良い物件が見つかりにくい」課題がある。

前問での回答のうち、どの理由が無くなれば、地方移住・2地域居住・長期滞在に向けた検討の後押しになりそうですか。あてはまるものをすべて教えてください。



調査結果 ②地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在先で希望する住まい

地方移住・2地域居住・長期滞在先の住まいとして、A静岡県出身者では「特にこだわらない」や「中古分譲戸建て住宅（必要に応じてリフォーム）」への希望が多く、B地方移住希望者では「中古分譲戸建て住宅（必要に応じてリフォーム）」や「中古分譲マンション・アパート（必要に応じてリフォーム）」への希望が多かった。

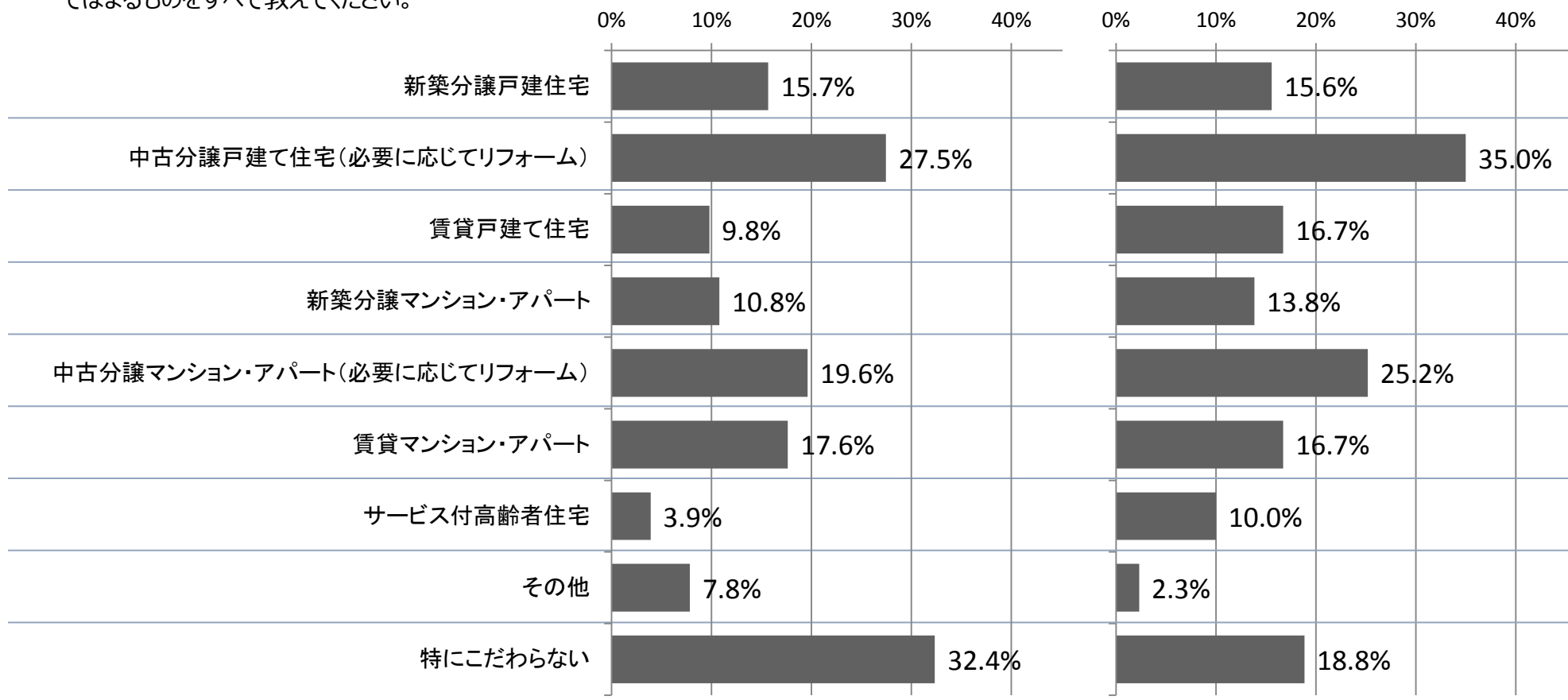
地方移住・2地域居住・長期滞在先のお住まいとして、どのような住居を希望されますか。あてはまるものをすべて教えてください。

A静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=102)

B地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在先で実現したいライフスタイル

地方移住・2地域居住・長期滞在先で実現したいライフスタイルとして、A静岡県出身者では「自然を身近に感じて暮らしたい」、「趣味やレジャーを楽しみたい」、「家族や友人との時間を大切にしたい」といった回答が多く、B地方移住希望者では「自然を身近に感じて暮らしたい」、「趣味やレジャーを楽しみたい」、「健康増進・体力強化に力を入れたい」といった回答が多かった。

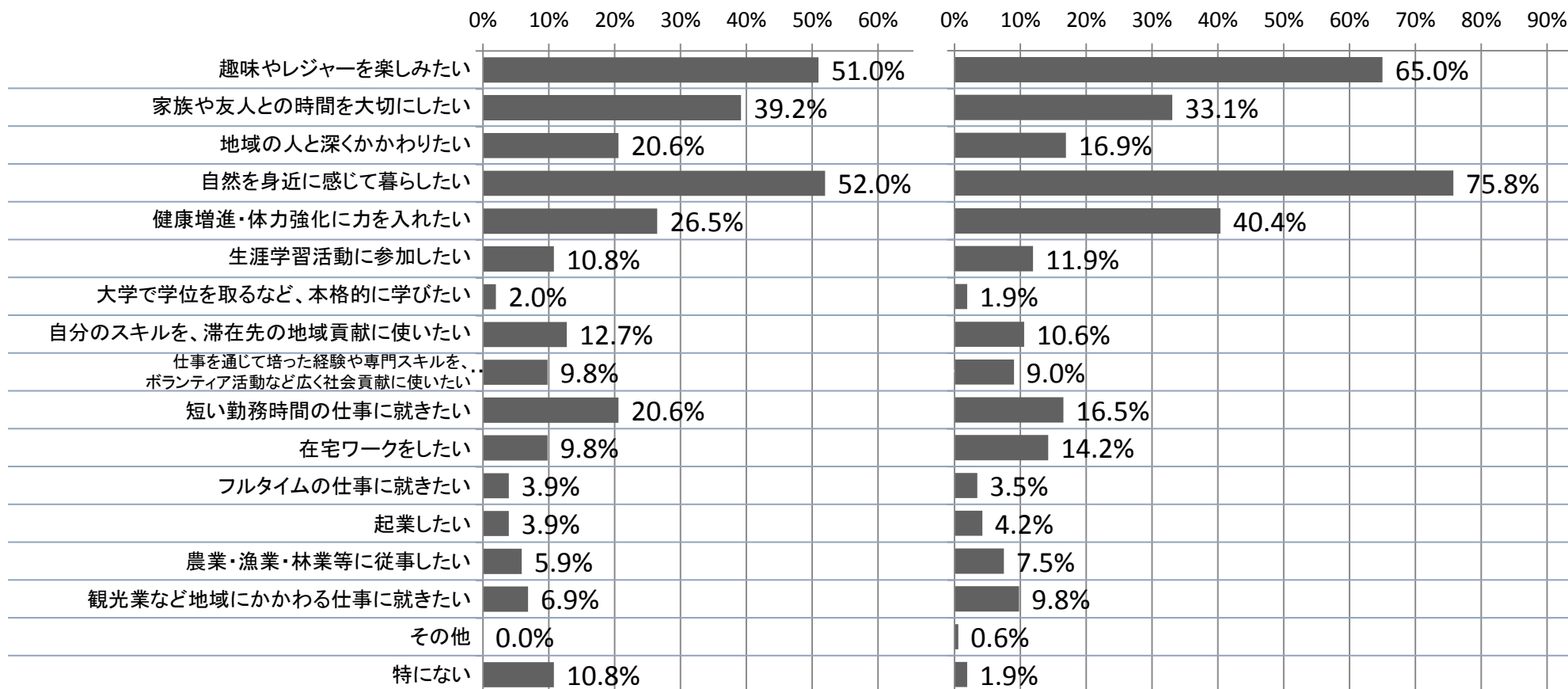
地方移住・2地域居住・長期滞在先で実現したいライフスタイルとしてあてはまるものをすべて教えてください。

A静岡県出身者 (50～60代)

静岡県出身者・50～60代(N=102)

B地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在先で実現したいライフスタイル（男女別）

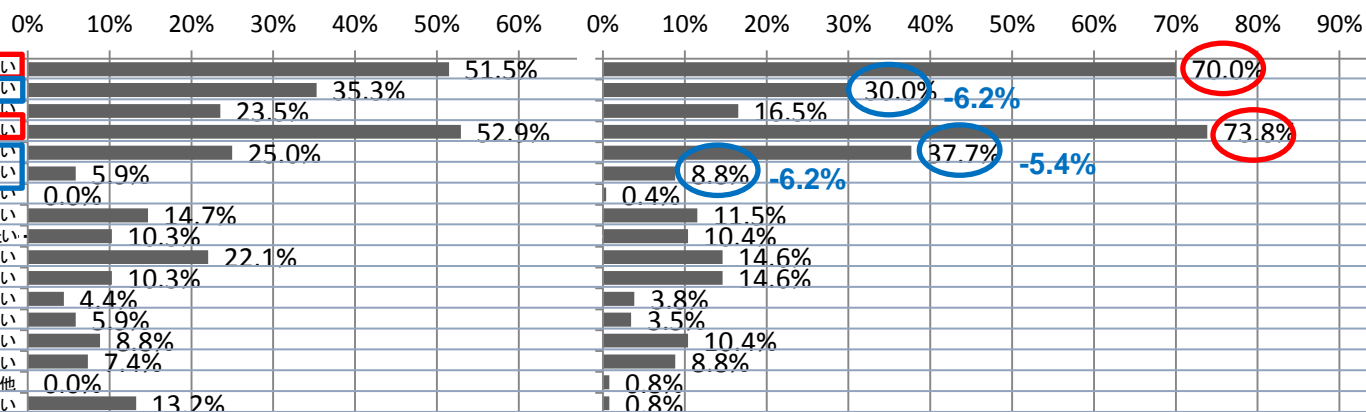
地方移住・2地域居住・長期滞在先で実現したいライフスタイルとして、B地方移住希望者では男性と女性で比較する。（※男女ともに突出した「趣味やレジャーを楽しみたい」「自然を身近に感じて暮らしたい」は偏りが大きい項目のため除く。）「家族や友人との時間を大切にしたい」「健康増進・体力増加に力を入れたい」「生涯学習活動に参加したい」の項目で、男性より女性の回答率が大きく、女性の方が男性よりも、健康・交流・生きがいなどへの関心が強いと考えられる。

地方移住・2地域居住・長期滞在先で実現したいライフスタイルとしてあてはまるものをすべて教えてください。

A 静岡県出身者（50～60代）
静岡県出身者・男性・50～60代(N=68)

B 地方移住希望者
地方移住希望者:男性(N=260)

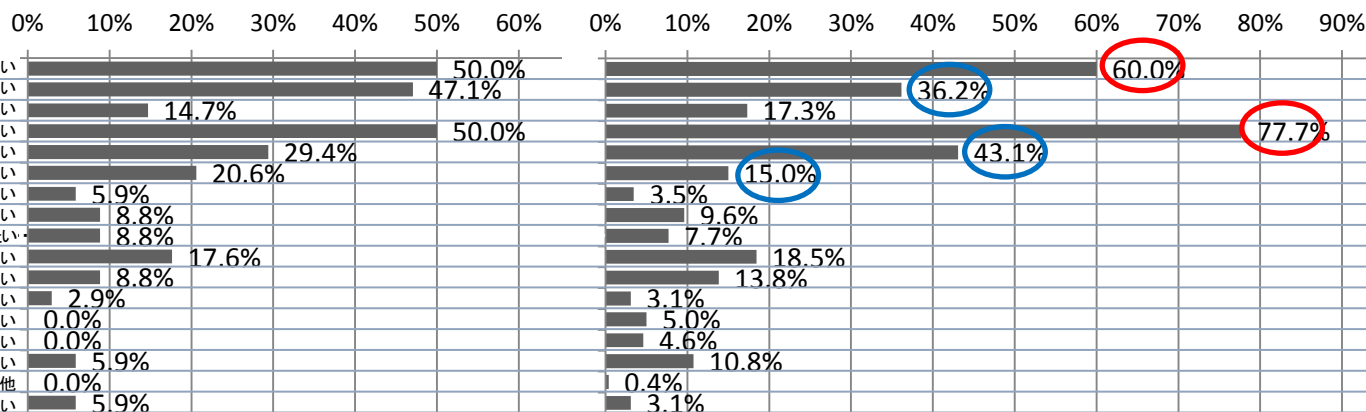
%表示は女性に対する男性の差



□ 傾向が似ている項目
□ 傾向が異なる項目

静岡県出身者・女性・50～60代(N=34)

地方移住希望者:女性(N=260)



調査結果 ② 地方移住等の意向

■ 地方移住・2地域居住・長期滞在先で実現したいライフスタイル

「静岡市を希望」と「茨城・栃木・群馬・山梨を希望」で比較すると(※似た傾向である「趣味やレジャーを楽しみたい」「自然を身近に感じて暮らしたい」は突出して偏りが大きい項目のため除く。)「茨城・栃木・群馬・山梨を希望」した人の方が「健康増進・体力増加に力を入れたい」の回答率が高い一方で、「地域の人と深く関わりたい」「自分のスキルを、滞在先の地域貢献に使いたい」の回答率は「静岡市を希望」した人が多い。セカンドキャリアでも、経験を活かし、社会と主体的に関わって生きたい人は静岡市を選ぶと考えられる。

地方移住・2地域居住・長期滞在先で実現したいライフスタイルとしてあてはまるものをすべて教えてください。

問9(もつともあてはまるもの)

静岡市を希望 (50～60代)

静岡市を希望・50～60代(N=74)

茨城・栃木・群馬・山梨を希望 (50～60代)

茨城・栃木・群馬・山梨県を希望・50～60代(N=156)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%

趣味やレジャーを楽しみたい

50.0%

64.7%

家族や友人との時間を大切にしたい

29.7%

26.3%

地域の人と深くかかわりたい

20.3% +7.5%

12.8%

自然を身近に感じて暮らしたい

56.8%

74.4%

健康増進・体力強化に力を入れたい

33.8% -5.9%

39.7%

生涯学習活動に参加したい

14.9%

12.2%

大学で学位を取るなど、本格的に学びたい

2.7%

1.3%

自分のスキルを、滞在先の地域貢献に使いたい

16.2% +5.9%

10.3%

仕事を通じて培った経験や専門スキルを、ボランティア活動など広く社会貢献に使いたい

9.5%

9.6%

短い勤務時間の仕事に就きたい

16.2%

14.7%

在宅ワークをしたい

12.2%

14.1%

フルタイムの仕事に就きたい

2.7%

1.3%

起業したい

5.4%

1.9%

農業・漁業・林業等に従事したい

5.4%

5.1%

観光業など地域にかかわる仕事に就きたい

9.5%

7.1%

その他

0.0%

0.0%

特にな

4.1%

1.9%

傾向が似ている項目

傾向が異なる項目

③静岡型CCRCへの関心

調査結果 ③ 静岡型CCRCへの関心

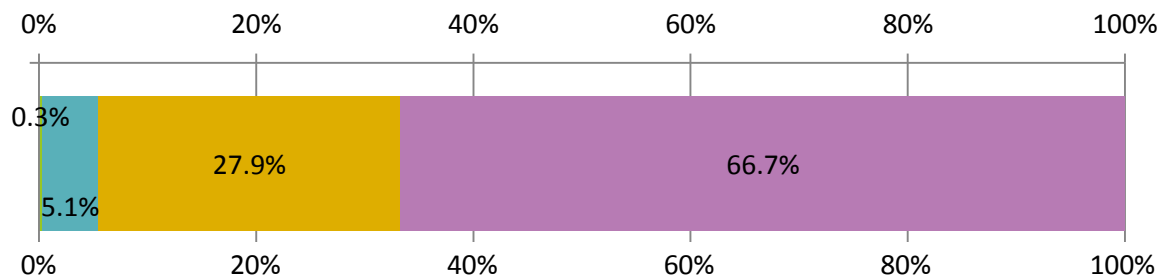
■ CCRCの認知度

CCRCの認知度として、A静岡県出身者、C静岡市・周辺市町村居住者のいずれでも「全く知らなかった」という回答が過半数を占めていた。B地方移住希望者では、A静岡県出身者、C静岡市・周辺市町村居住者と比較してCCRCの認知度が高かった。

現在「CCRC」という、高齢者が安心して健康で元気に暮らし続けることができ、生涯学習や多世代交流の基盤が整ったコミュニティづくりが日本で進行中ですが、このような取り組みをご存知でしたか。

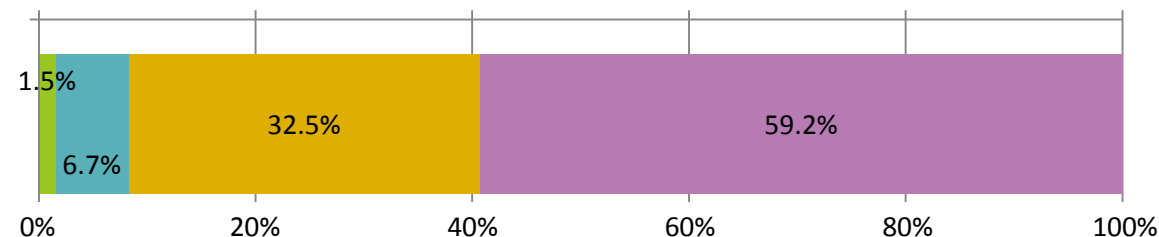
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=294)



B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=312)



- 以前から知っていて、自らCCRCに関する情報を集めていた
- 以前から知っていたが、自らCCRCに関する情報を集めることはしなかった
- 聞いたことはあるが、よく知らない
- 全く知らなかった

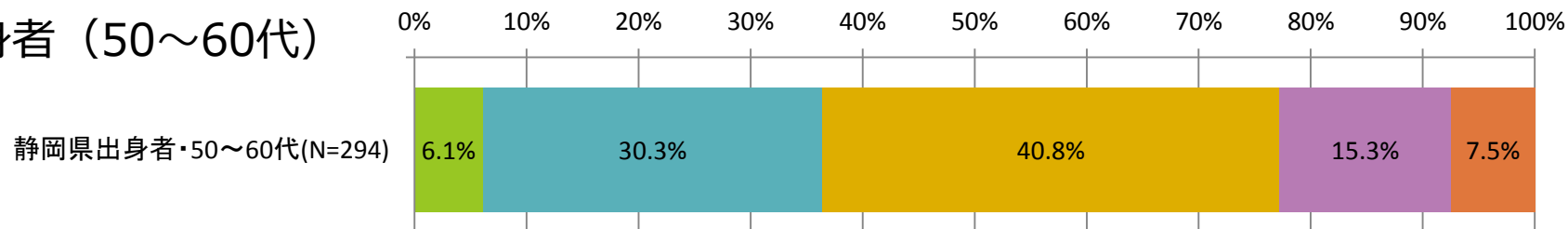
調査結果 ③ 静岡型CCRCへの関心

■ CCRCへの関心

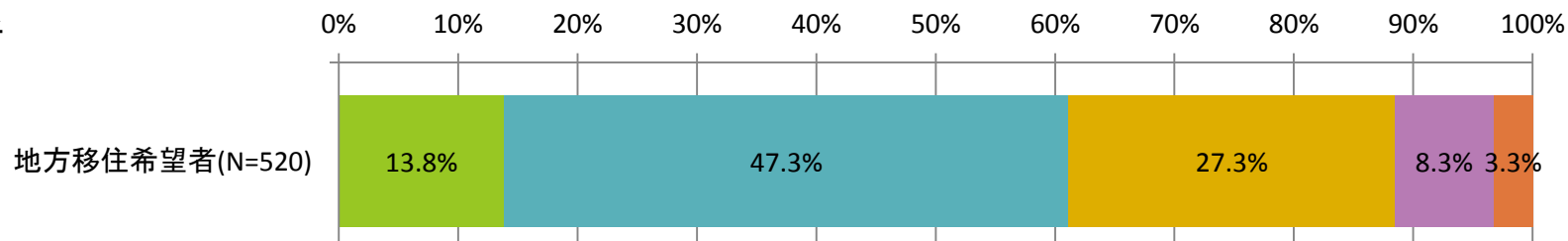
CCRCへの関心として、B地方移住希望者の関心度が最も高く、「どちらかといえば関心がある」が47.3%で最も多かった。

上図に提示した新しいコミュニティのコンセプトについて、どう思われますか。
関心度を教えてください。

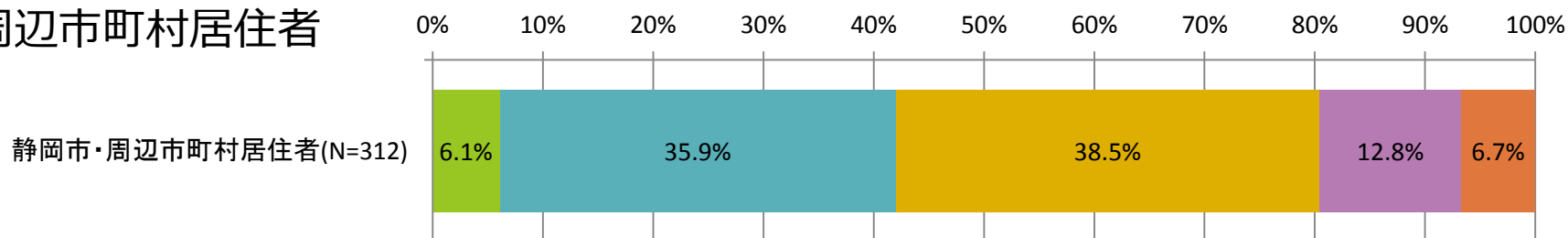
A 静岡県出身者（50～60代）



B 地方移住希望者



C 静岡市・周辺市町村居住者



■ 関心がある ■ どちらかといえば関心がある ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば関心がない ■ 関心がない

調査結果 ③ 静岡型CCRCへの関心

■ CCRCに期待される機能

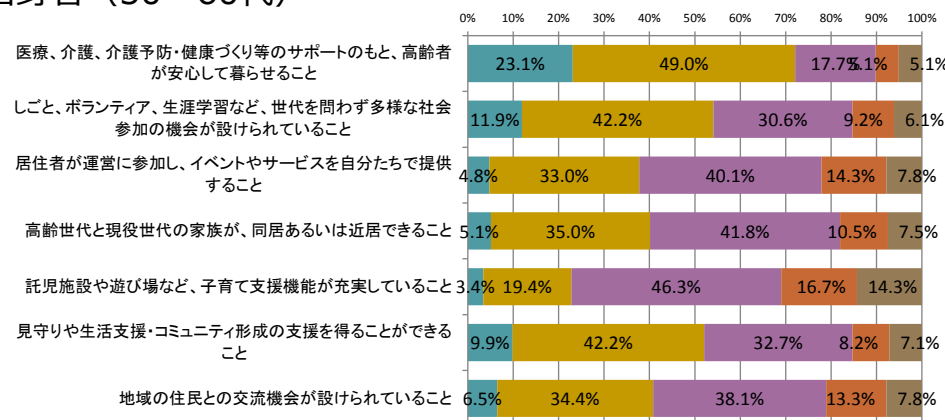
CCRCに期待される機能として、A・B・Cいずれの対象者においても「医療、介護、介護予防、健康づくり等のサポートのもと、高齢者が安心して暮らせること」に対する関心度が最も高く、次いで「しごと、ボランティア、生涯学習など、世代を問わず多様な社会参加の機会が設けられている」や「見守りや生活支援・コミュニティ形成の支援を得ることができること」が多かった。特にB地方移住希望者については、「しごと、ボランティア、生涯学習など」、「地域の住民との交流機会」、「居住者の運営参加」など、地域交流への関心が強い。

上図に提示した新しいコミュニティのコンセプトについて、どう思われますか。

以下の項目ごとに関心度を教えてください。

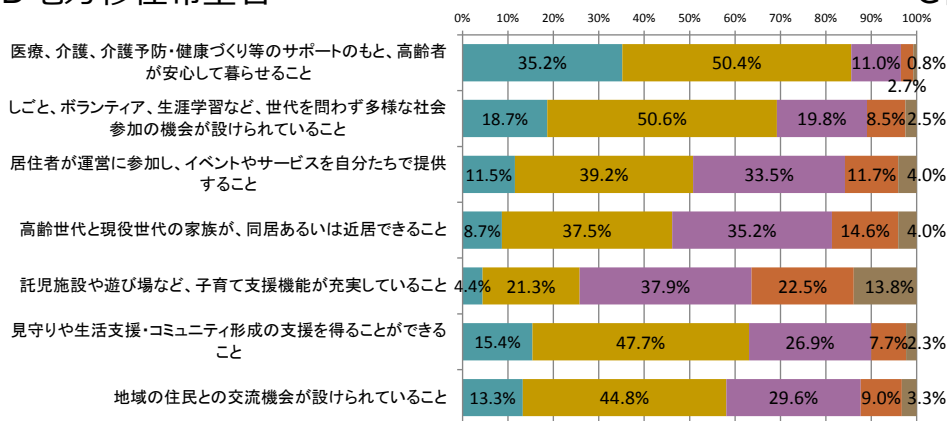
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=294)



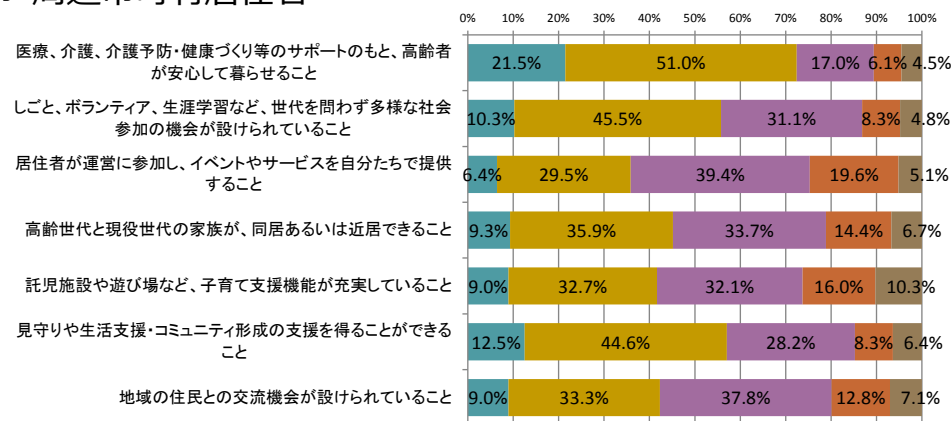
B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=312)



■ 関心がある ■ どちらかといえば関心がある ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば関心がない ■ 関心がない

調査結果 ③ 静岡型CCRCへの関心

■ CCRCに期待される機能

3つのタイプごとに「関心がある」と回答した人のみについて、CCRCの各コンセプトの関心度を集計したところ、「タウン型」に関心があると回答した人は各コンセプトについて全般的に関心度が高い。

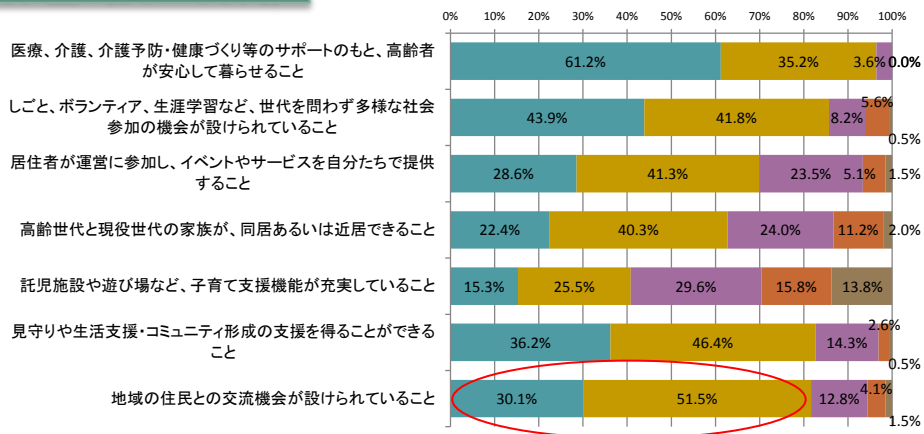
エリア型・施設型を比較すると「見守りや生活支援・コミュニティ形成などの支援を得ることができる」「高齢世代と現役世代が同居・近居」については施設型において関心度が高く、「地域の住民との交流機会」については施設型で低く、エリア型が高い。

上図に提示した新しいコミュニティのコンセプトについて、どう思われますか。

以下の項目ごとに関心度を教えてください。

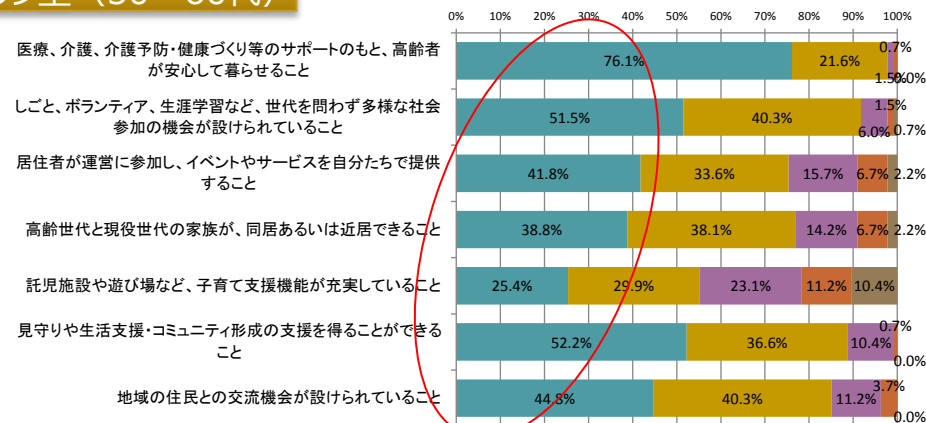
エリア型 (50~60代)

エリア型・50~60代(N=196)



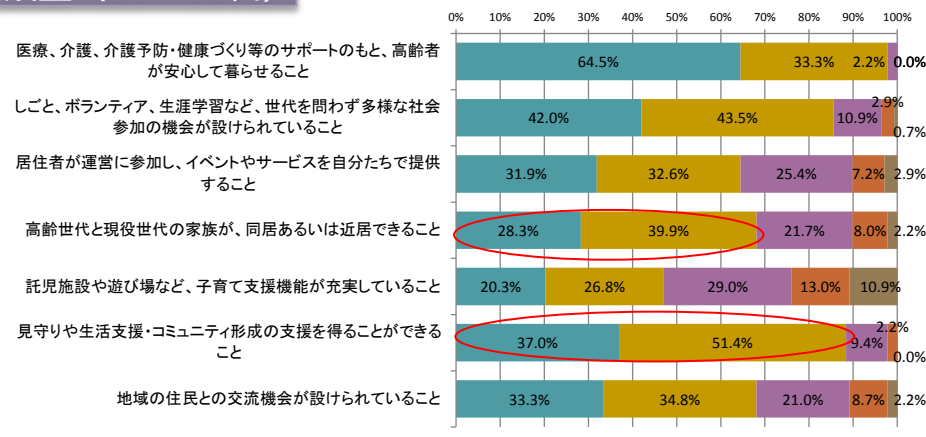
タウン型 (50~60代)

タウン型・50~60代(N=134)



施設型 (50~60代)

施設型・50~60代(N=138)



■ 関心がある ■ どちらかといえば関心がある ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば関心がない ■ 関心がない

調査結果 ③ 静岡型CCRCへの関心

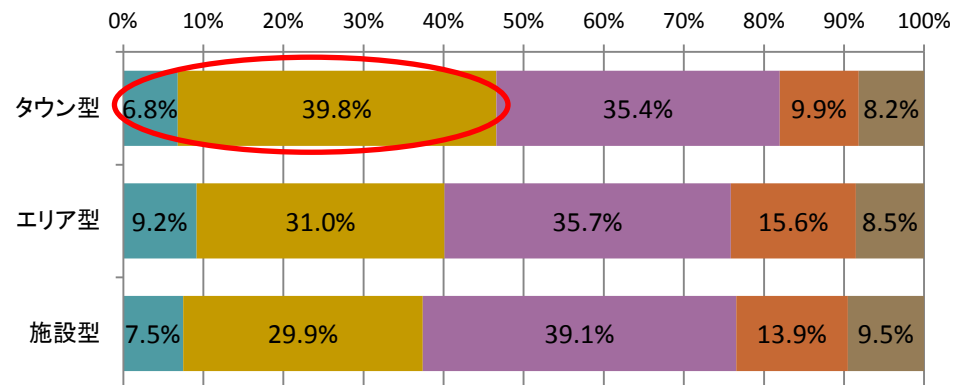
■ 3種類のCCRCへの関心

A静岡県出身者とC静岡市・周辺市町村居住者では「**タウン型**」への関心が最も高く、B地方移住希望者では「**エリア型**」への関心が最も高かった。

上図に提示した3種類（タウン型・エリア型・施設型）のコミュニティが静岡市に出来た場合、それぞれに対して、地方移住・2地域居住・長期滞在をしてみたい、あるいは検討してみたいと思いますか。あてはまるものをそれぞれお選びください。

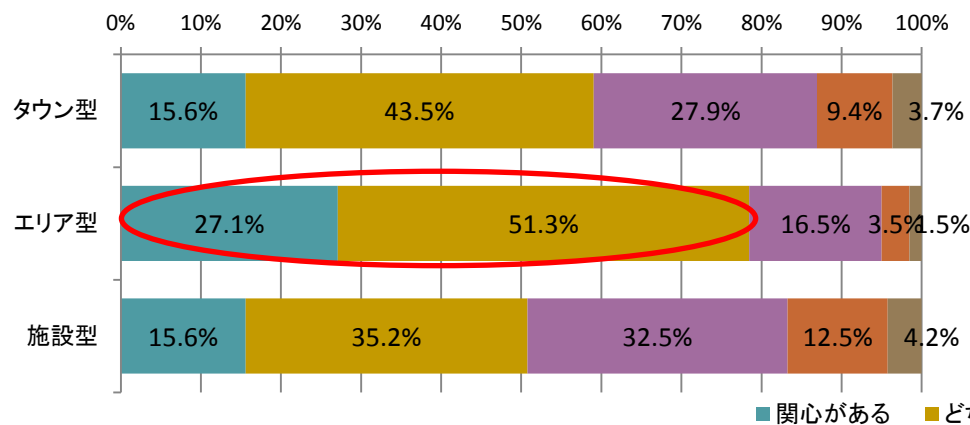
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=294)



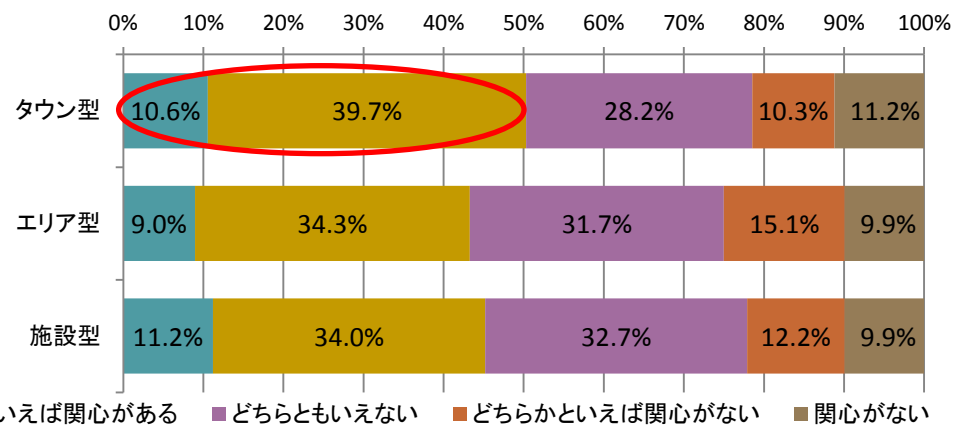
B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=312)



調査結果 ③ 静岡型CCRCへの関心

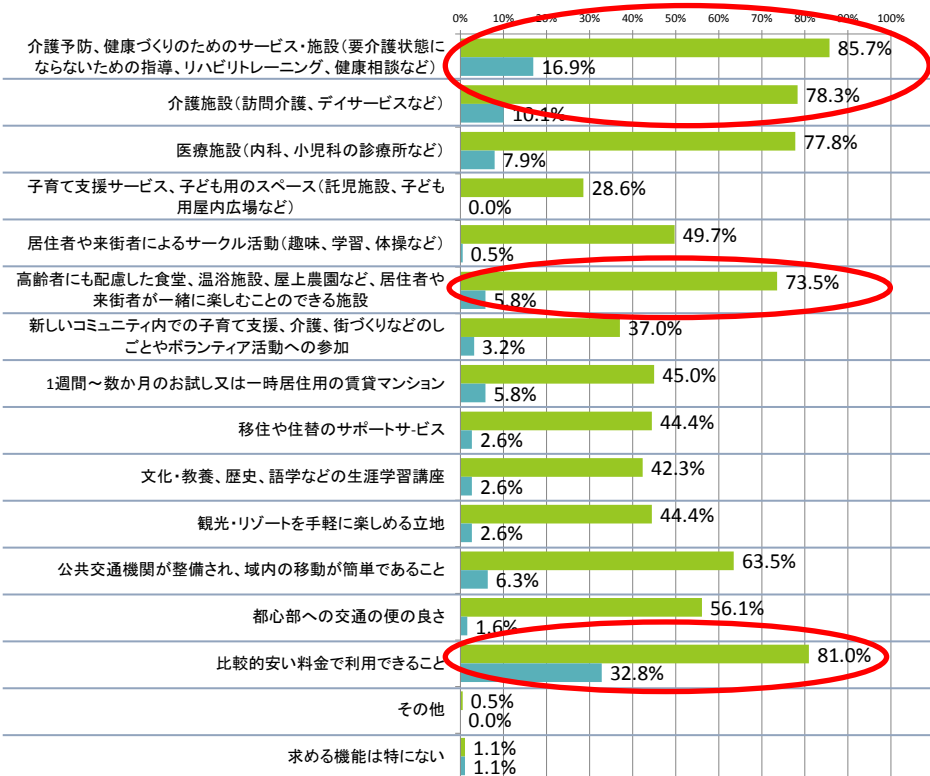
■ 静岡型CCRCに求められる機能

A・B・Cいずれにおいても、「介護予防、健康づくりのためのサービス・施設」、「比較的安い料金で利用できること」や「医療施設」、「介護施設」に対する要望は高いが、特に「介護施設」「介護予防等」、「安い料金」についてはA・C層で高い。A・Bでは「高齢者にも配慮した食堂、温浴施設、屋上農園など、居住者や来街者が一緒に楽しむことのできる施設」に対する要望も高く、B層のみの特徴としては「お試し用等の賃貸マンション」、「観光・リゾート等」へのニーズも高い。

Q18で3種類（タウン型・エリア型・施設型）のコミュニティが静岡市に出来た場合、いずれかの種類に「関心がある」もしくは「どちらかといえば関心がある」と回答した方にお聞きします。静岡市にCCRCがつけられた場合、あったらいいと思う機能をすべてお選びください。また、その中からもっとも重要だと思う機能をひとつお選びください。

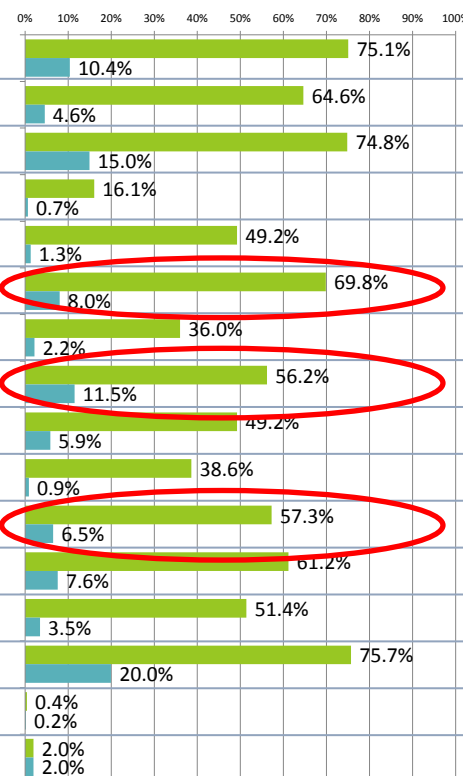
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=189)



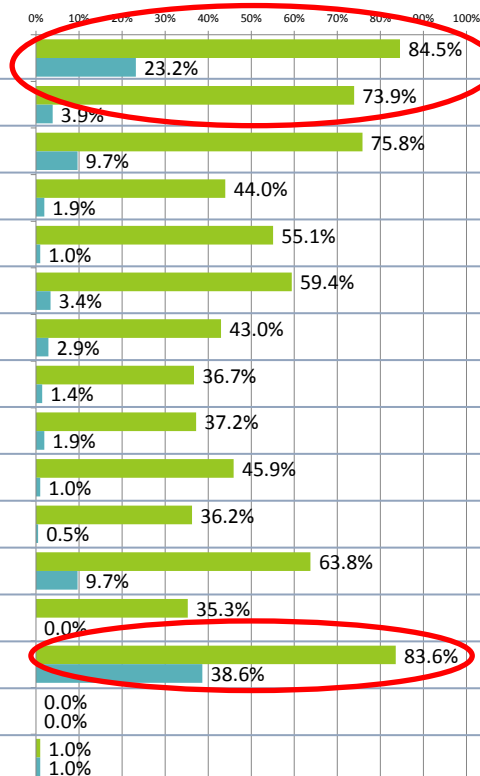
B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=461)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=207)



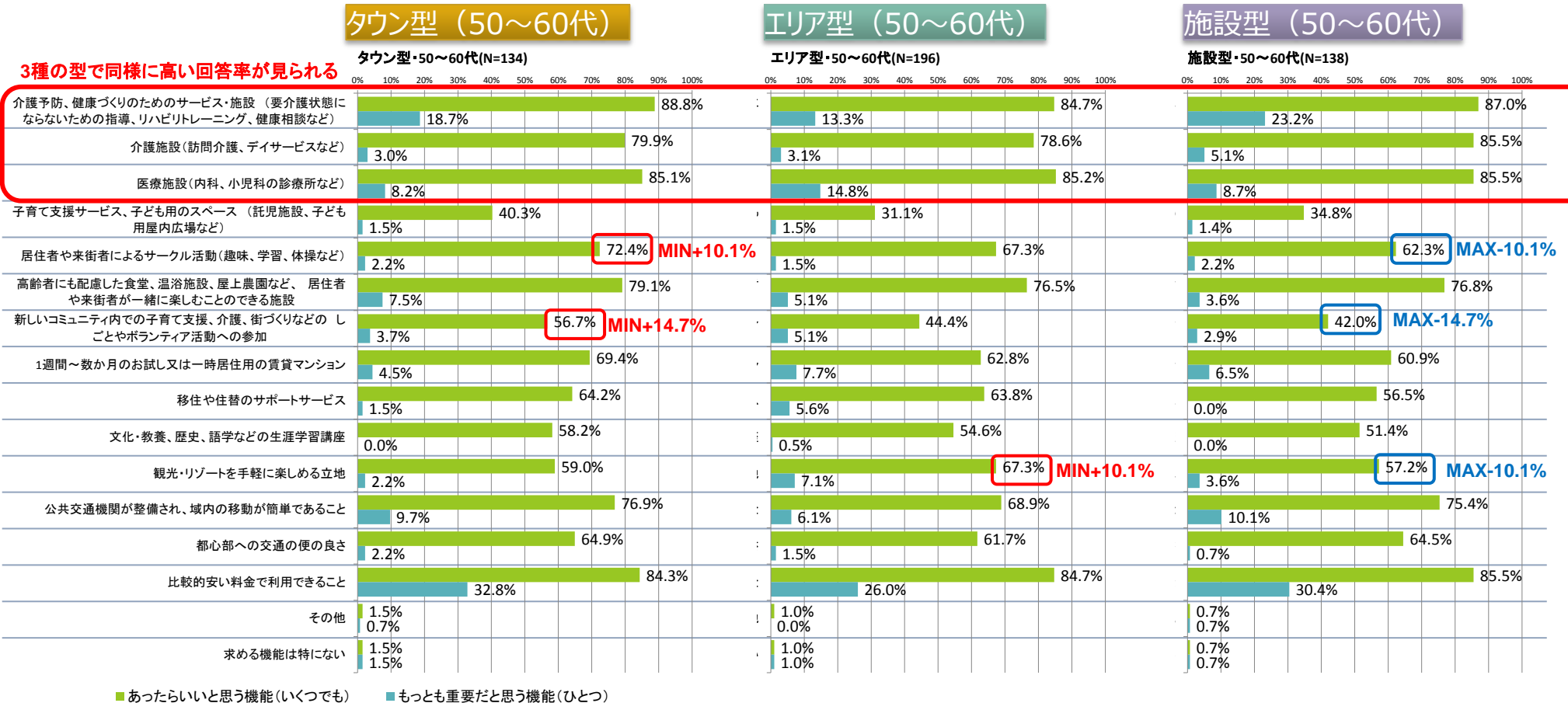
■ あったらいいと思う機能(いくつでも) ■ もっとも重要だと思う機能(ひとつ)

調査結果 ③ 静岡型CCRCへの関心

■ 静岡型CCRCに求められる機能

3つのどのタイプでも、「介護予防、健康づくり等」「介護施設」「医療施設」へのニーズが高い。顕著な差異として、タウン型においては「居住者や来訪者によるサークル活動」・「新しいコミュニティ内での子育て支援」など、社会性が高い項目の回答率が高い。またエリア型は「観光リゾートを楽しめる」項目へのニーズが高い。最後に施設型に関しては、タウン型と反対の傾向があり、アクティビティよりも施設の充実へのニーズが高い。

Q18で3種類（タウン型・エリア型・施設型）のコミュニティが静岡市に出来た場合、いずれかの種類に「関心がある」もしくは「どちらかといえば関心がある」と回答した方にお聞きします。静岡市にCCRCがつけられた場合、あったらいいと思う機能をすべてお選びください。また、その中からもっとも重要だと思う機能をひとつお選びください。



調査結果 ③ 静岡型CCRCへの関心

■ 静岡型CCRC・地域交流拠点に求められる機能

静岡型CCRC・地域交流拠点に求められる機能として、A静岡県出身者とB地方移住希望者は「入居の事前相談サービス」、「お試し居住」の入居手配サービス、「お試し居住」のための住まい・部屋といった地方移住・二地域居住・長期滞在前の事前支援サービスを求めている。C静岡市・周辺市町村居住者は「入居の事前相談サービス」のほか、「バス停などの地域交通拠点」、「生活相談窓口」といた生活支援機能を求めている。

引き続き、Q18で3種類（タウン型・エリア型・施設型）のコミュニティが静岡市に出来た場合、いずれかの種類に「関心がある」もしくは「どちらかといえば関心がある」と回答した方にお聞きします。静岡型CCRCでの入居者の生活を支援する「地域交流拠点」があった場合、具体的にどのような機能をもとめますか。あてはまるものをすべてお答えください。

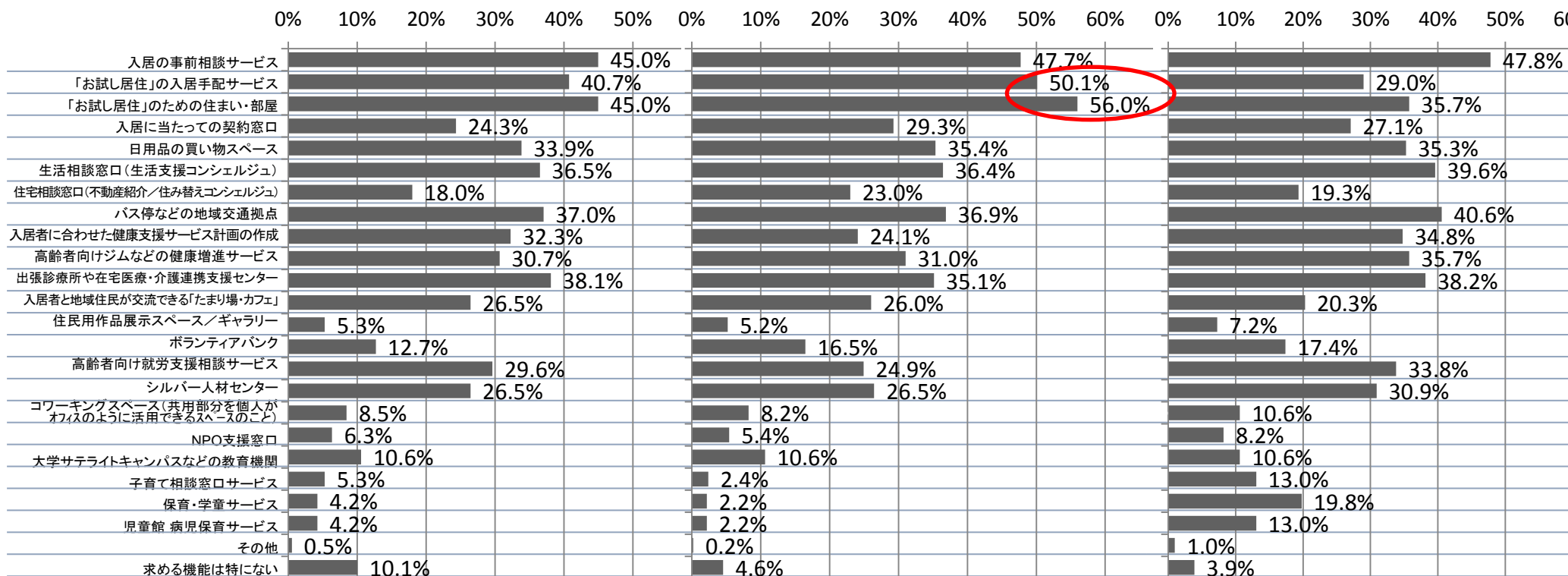
A 静岡県出身者（50～60代）

B 地方移住希望者

C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡県出身者・50～60代(N=189) 地方移住希望者(N=461)

静岡市・周辺市町村居住者(N=207)



調査結果 ③ 静岡型CCRCへの関心

■ 静岡型CCRC・地域交流拠点に求められる機能

3つのタイプごとに「関心がある」と回答した人のみについて、地域交流拠点に必要な機能・サービスについて聞いたところ、コンセプト同様、タウン型に関心がある人は地域交流拠点で提供する機能全般についてニーズが高い。

引き続き、Q18で3種類（タウン型・エリア型・施設型）のコミュニティが静岡市に出来た場合、いずれかの種類に「関心がある」もしくは「どちらかといえば関心がある」と回答した方にお聞きします。静岡型CCRCでの入居者の生活を支援する「地域交流拠点」があった場合、具体的にどのような機能をもとめますか。あてはまるものをすべてお答えください。

タウン型 (50~60代)

タウン型・50~60代(N=134)

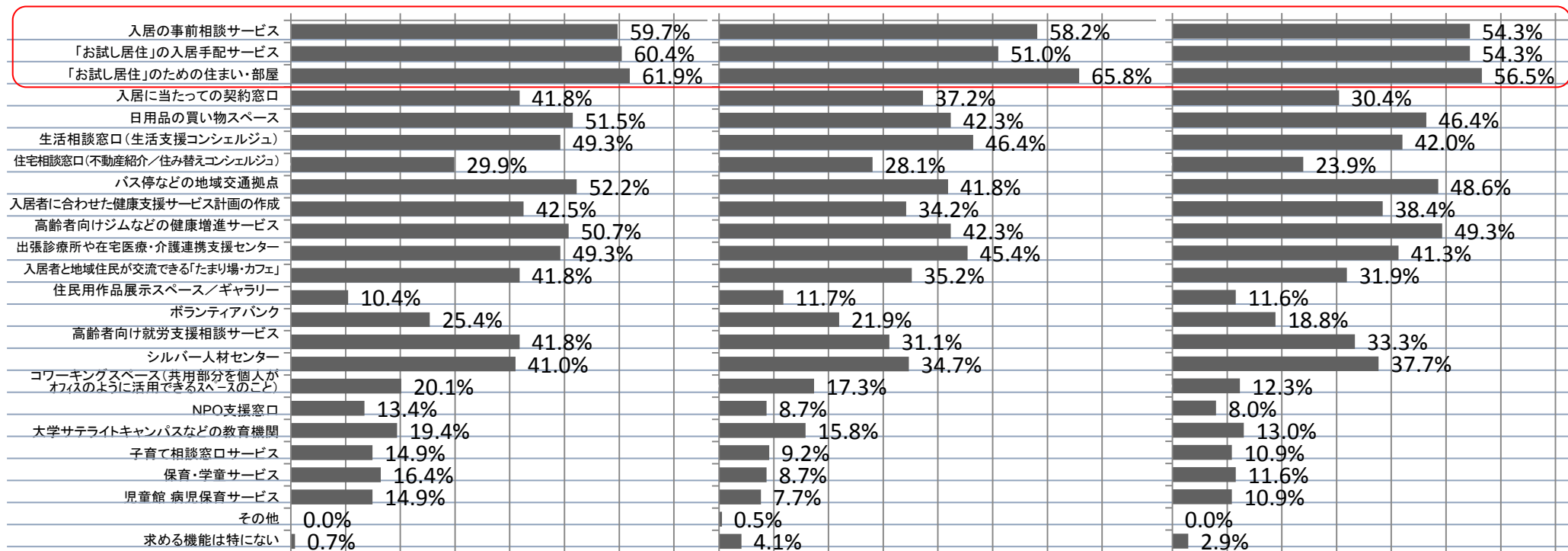
エリア型 (50~60代)

エリア型・50~60代(N=196)

施設型 (50~60代)

施設型・50~60代(N=138)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%



【参考】回答者の属性等

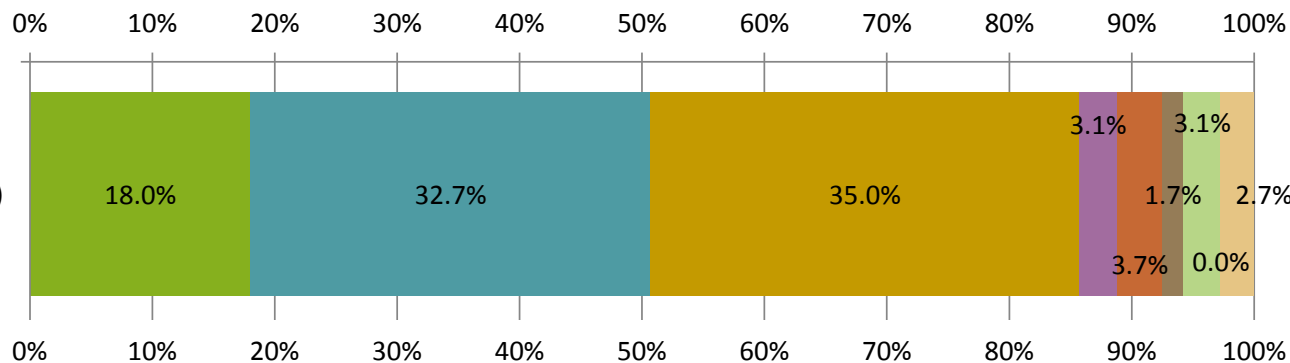
調査結果 【参考】回答者の属性等

■同居している家族の形態

あなたの現在同居している家族形態はどれですか。

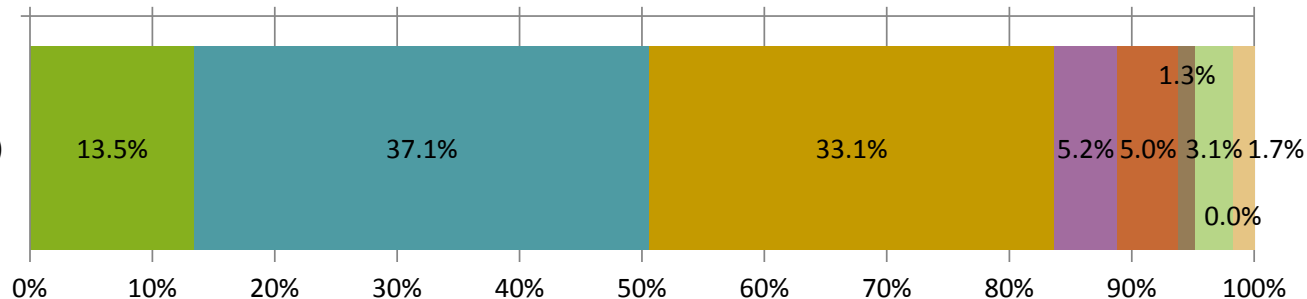
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=294)



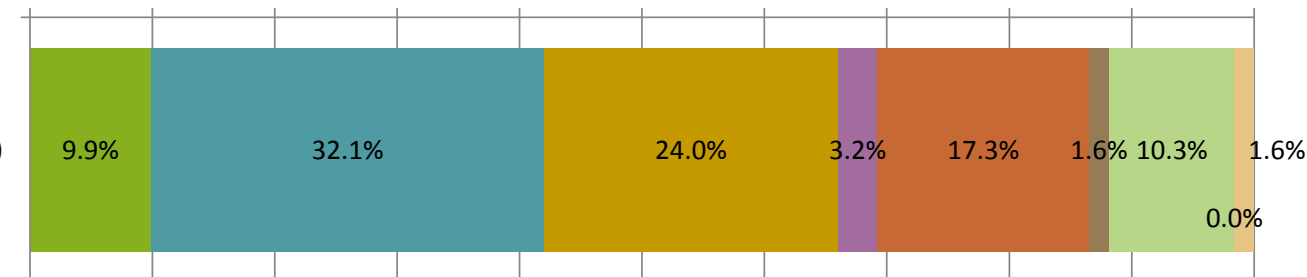
B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=312)



- 単身世帯(ひとり暮らし)
- 1世代世帯(夫婦だけ)
- 2世代世帯(両親と子:あなたが親)
- 2世代世帯(ひとり親と子:あなたが親)
- 2世代世帯(親と子:あなたが子)
- 3世代世帯(親と子と孫:あなたが親)
- 3世代世帯(親と子と孫:あなたが孫)
- その他

調査結果 【参考】回答者の属性等

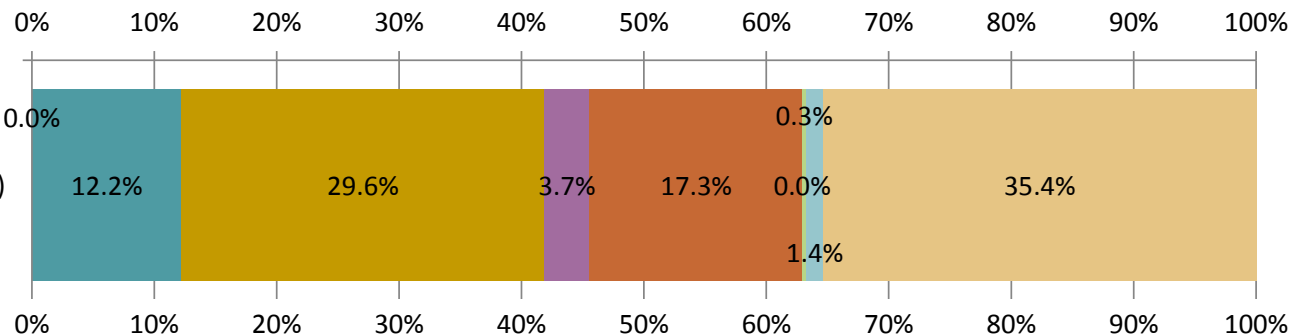
■ 職業

あなたは、現在、収入のある仕事をしておられますか。それは主にどのような就業形態ですか。

この中から1つだけお答えください。もし、複数の仕事をしている場合は、収入の最も多いものをお答えください。

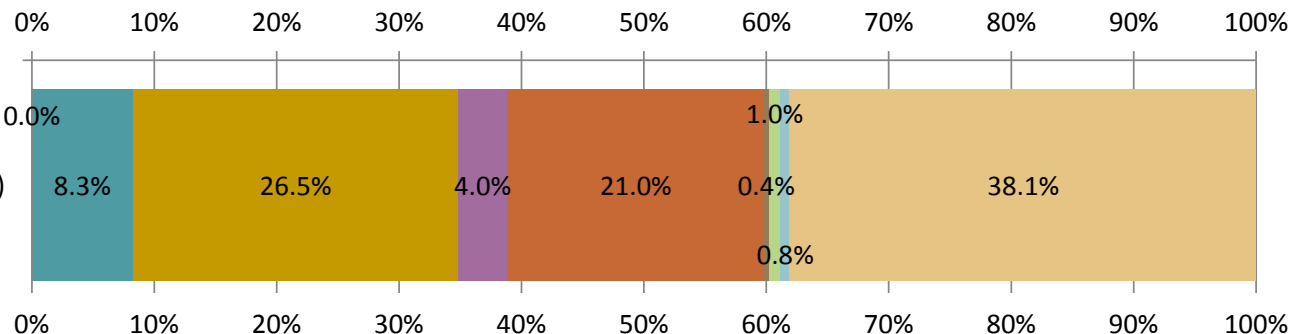
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=294)



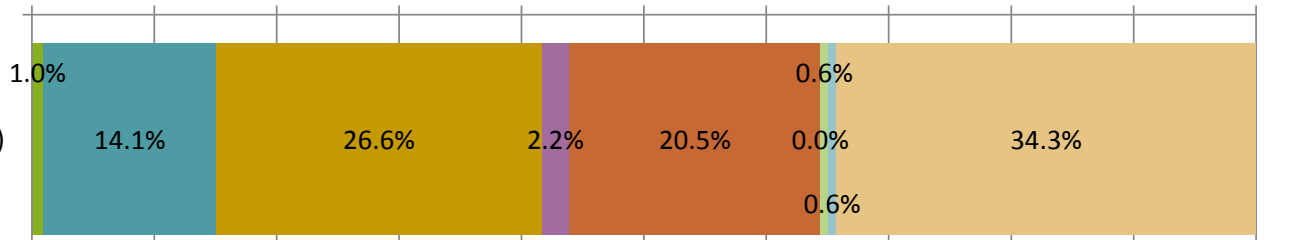
B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=312)



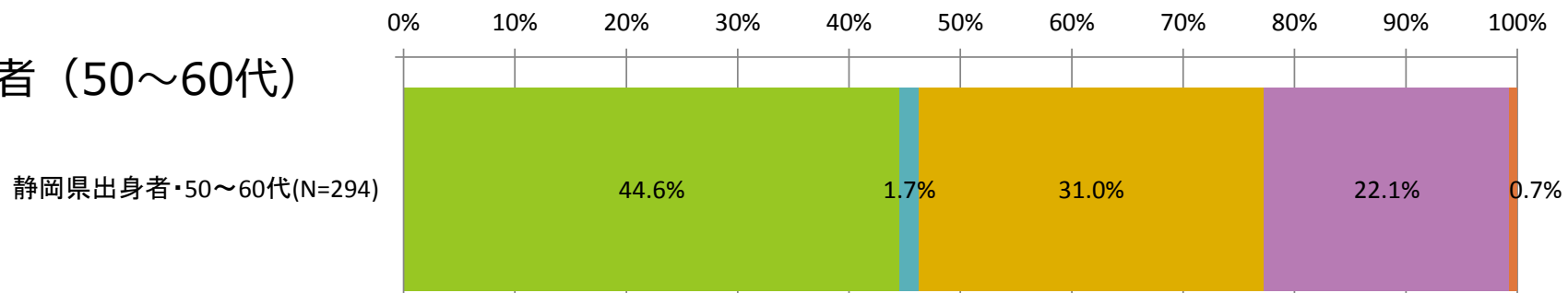
- 農林漁業(家族従業者を含む)
- 会社・団体等の役員
- 内職
- 自営業(商工サービス業・自由業(家族従業者を含む)など)
- パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託 等
- その他
- 会社・団体等の正規の職員・従業員
- シルバー人材センターによる業務請負
- 仕事はしていない

調査結果 【参考】回答者の属性等

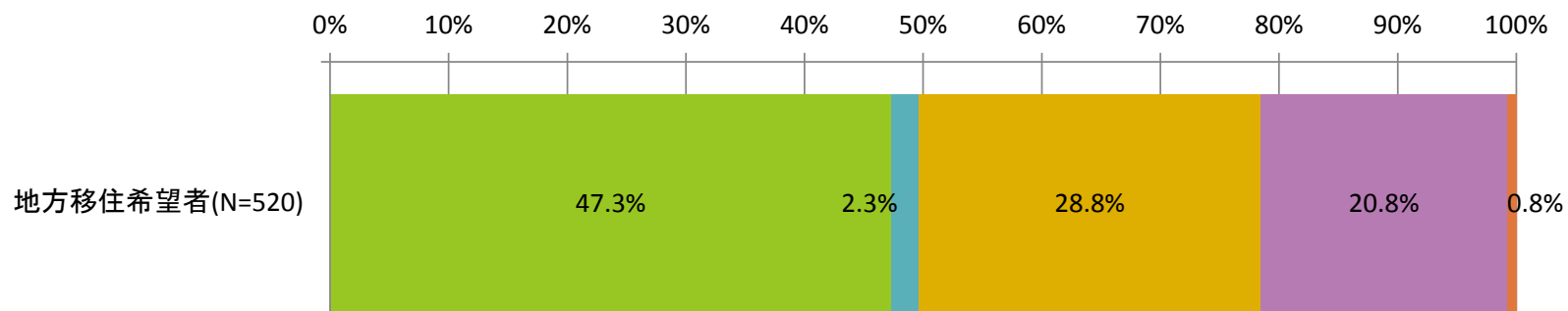
■ すまいの形態

あなたが現在主に住んでいる住宅についておうかがいします。住宅の形態としてあてはまるものをお選びください。

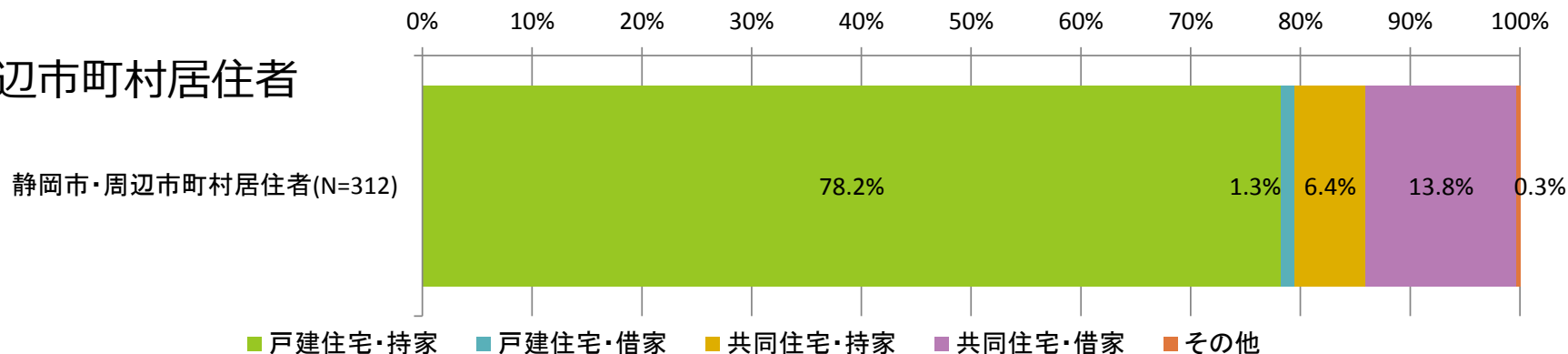
A 静岡県出身者（50～60代）



B 地方移住希望者



C 静岡市・周辺市町村居住者

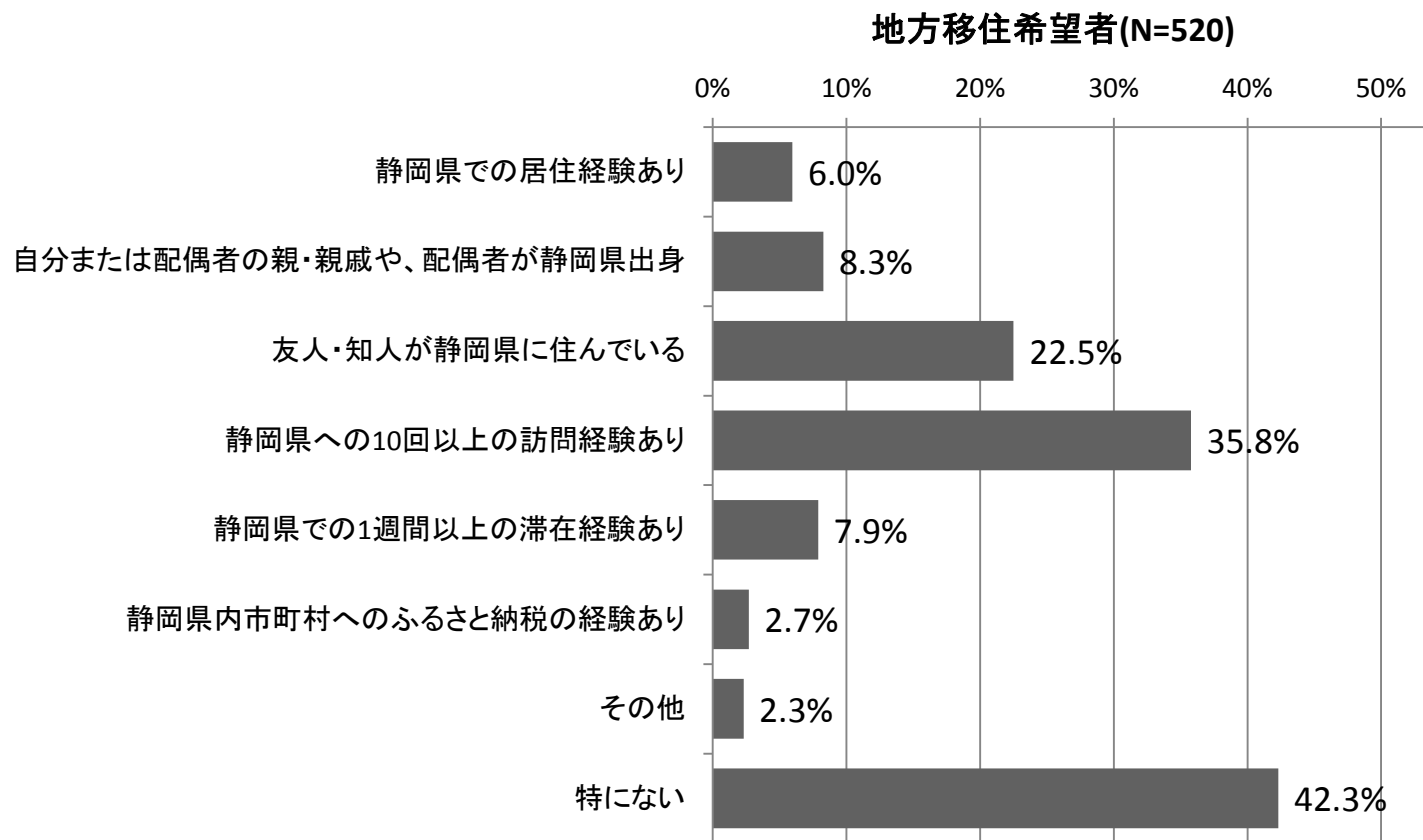


調査結果 【参考】回答者の属性等

■ 静岡県とのつながり

静岡県とのつながりについてあてはまるものをすべて教えてください。

B 地方移住希望者



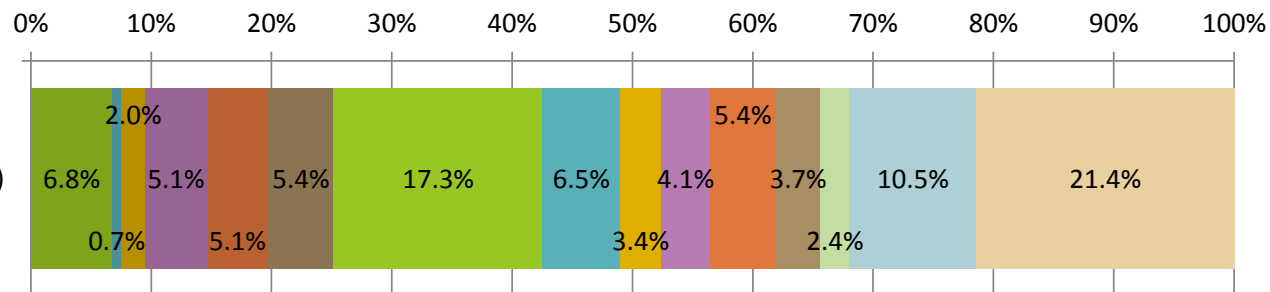
調査結果 【参考】回答者の属性等

■貯蓄

あなたの世帯の現在の貯蓄はどのくらいですか。

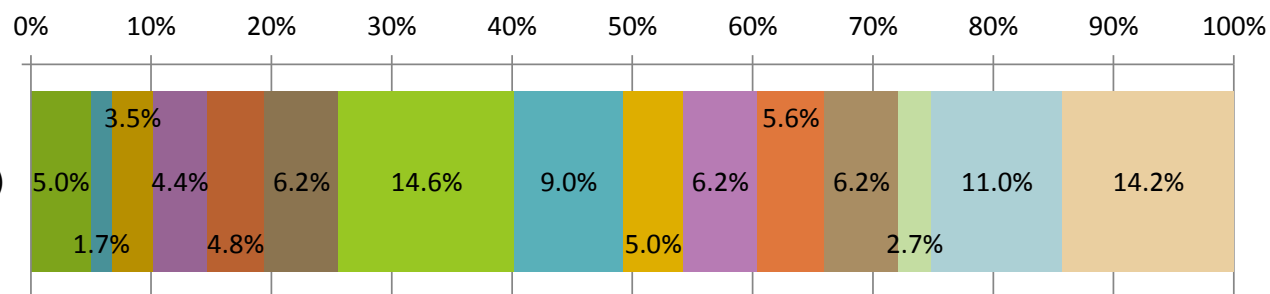
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=294)



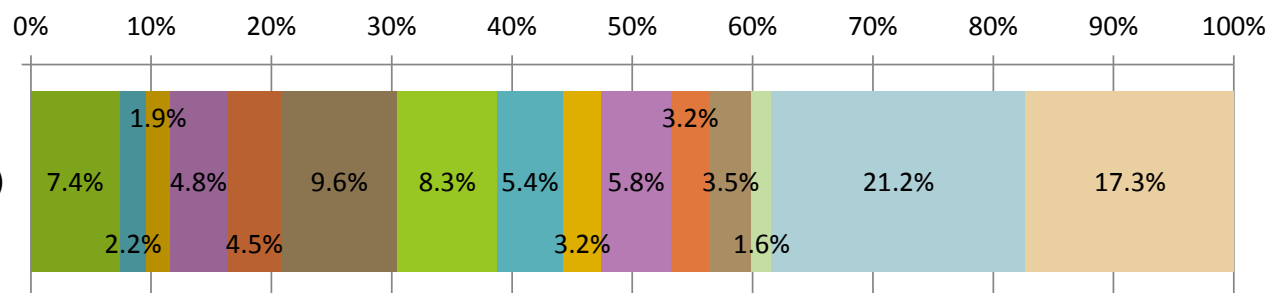
B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=312)



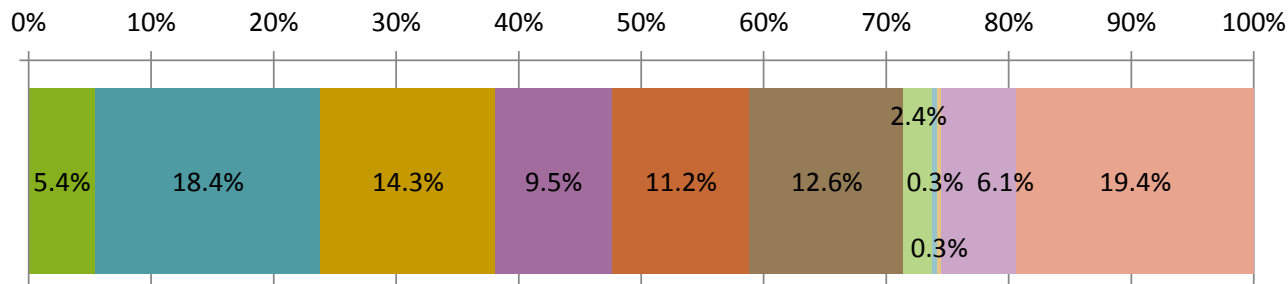
調査結果 【参考】回答者の属性等

■ 年間収入

あなたの世帯の現在の年間収入はどのくらいですか。

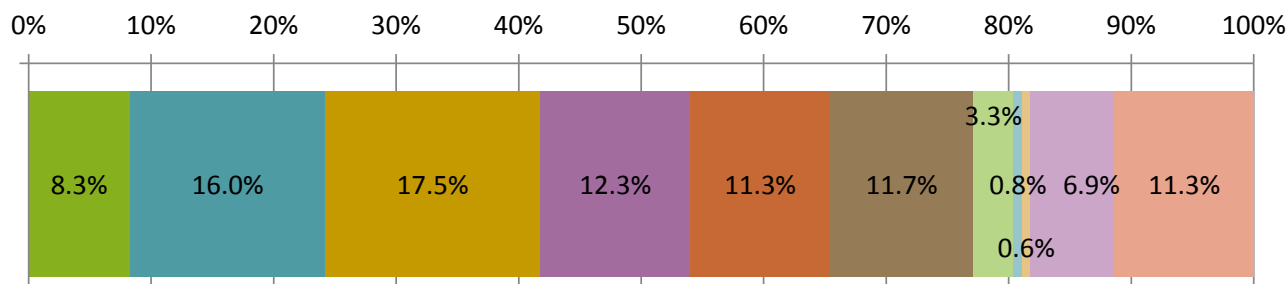
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=294)



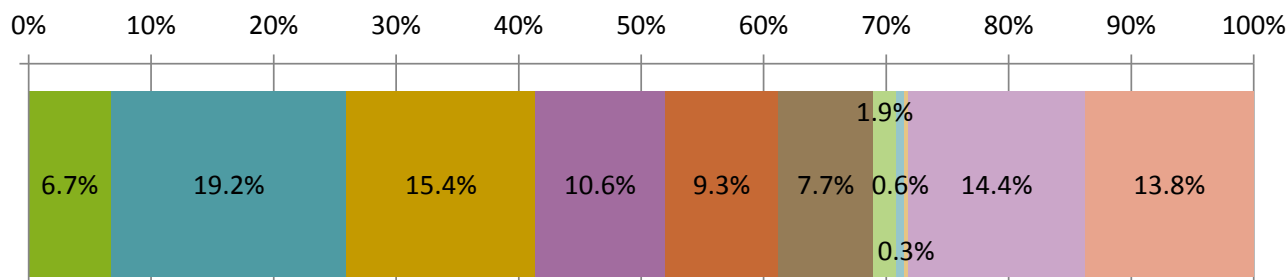
B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=312)



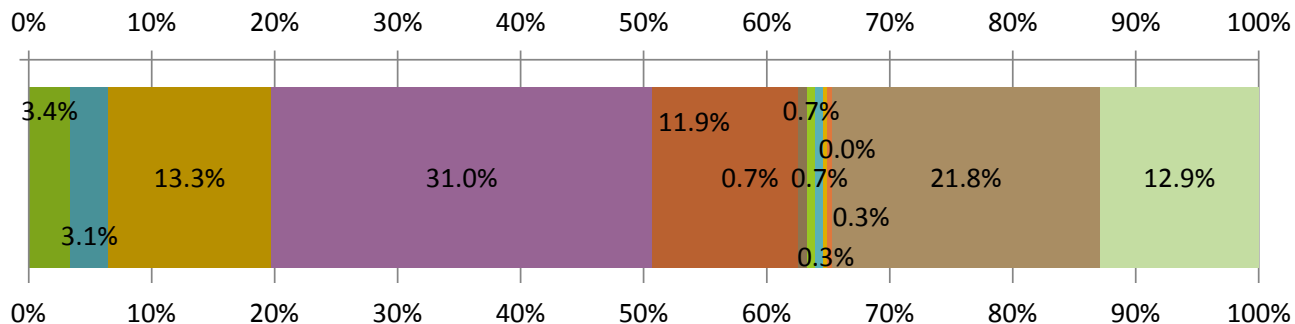
調査結果 【参考】回答者の属性等

■ 老後の収入見込み

老後にはどの程度の年間世帯収入があると考えられますか。見込みとして最もあてはまるものをお選びください。

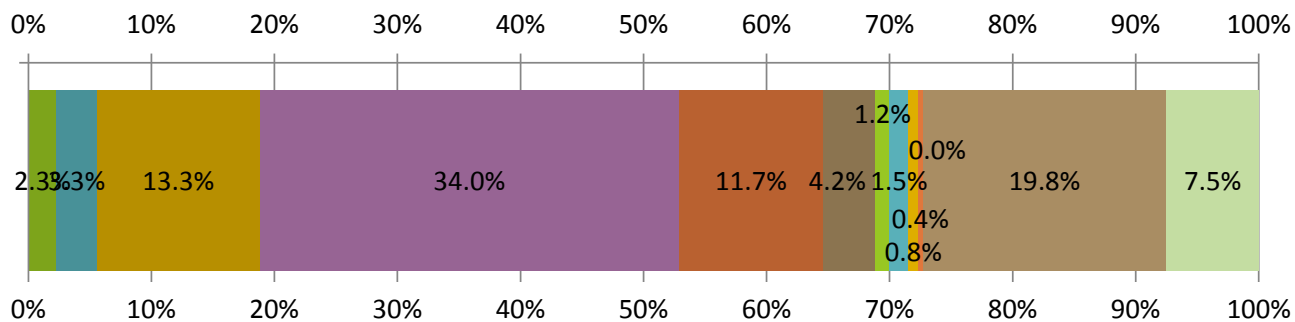
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=294)



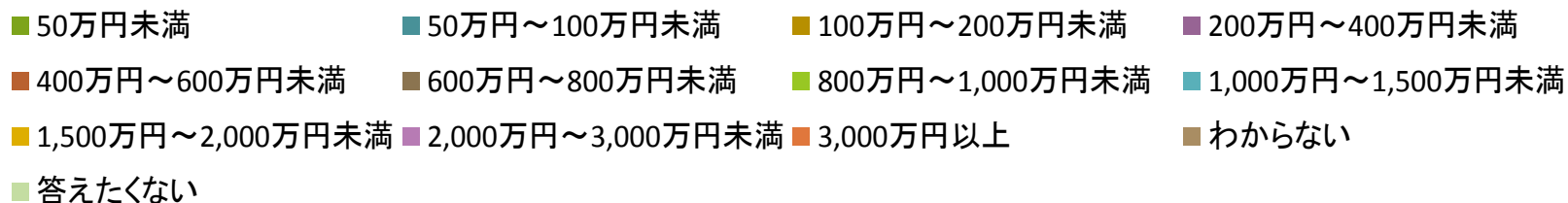
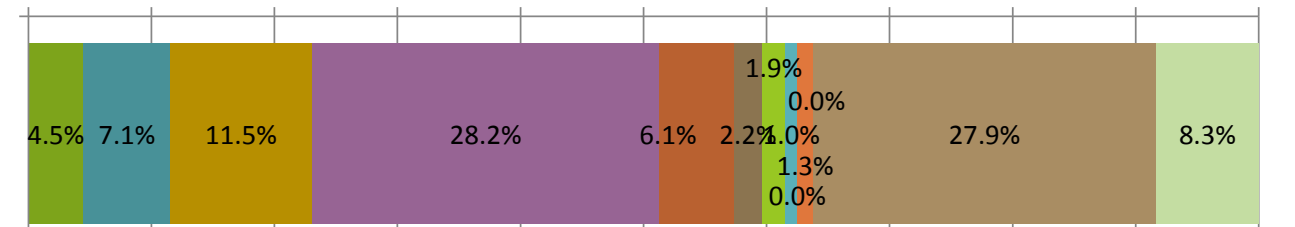
B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=312)



調査結果 【参考】回答者の属性等

■ 回答者の普段の移動手段

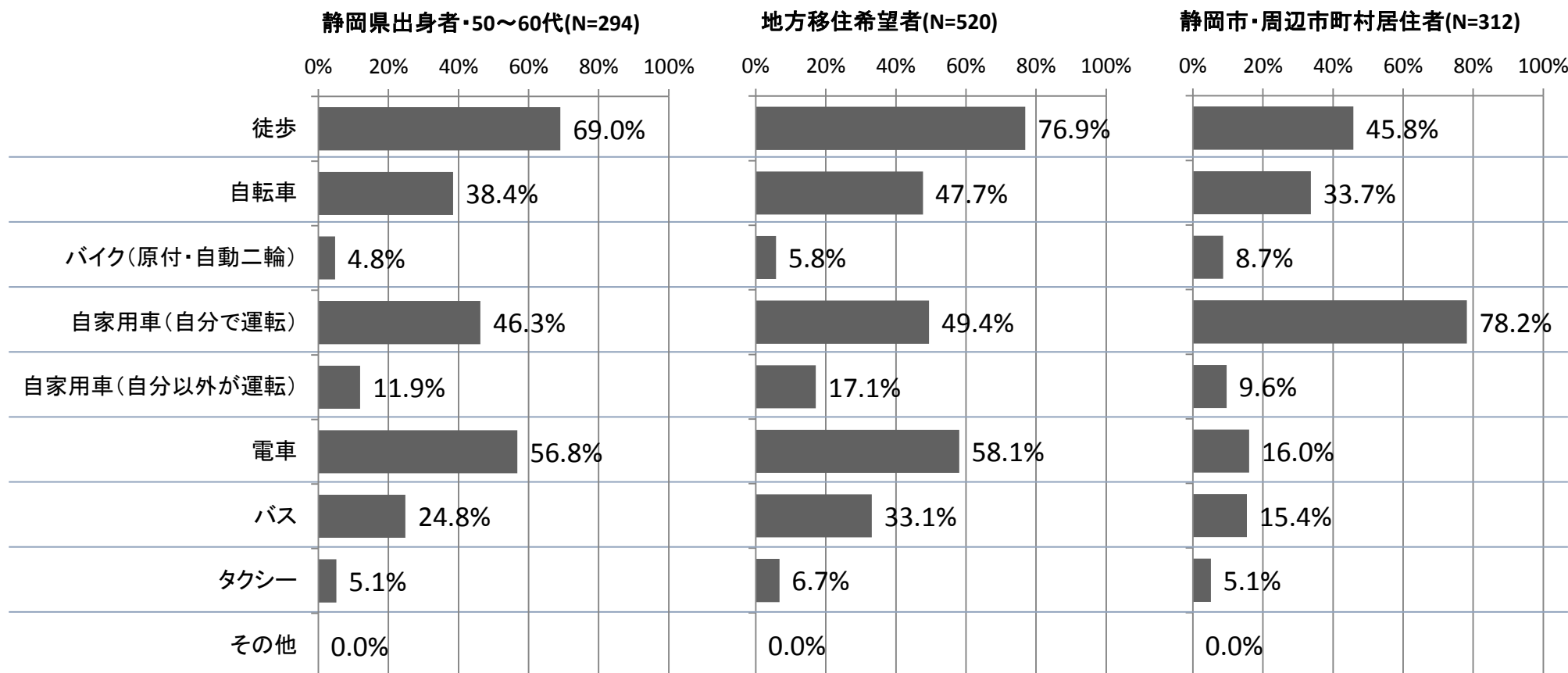
A静岡県出身者、B地方移住希望者では「徒歩」が最も多いが、C静岡市・周辺市町村居住者では「自家用車（自分で運転）」が最も多い。

あなたの普段の移動手段についてお聞きます。日常生活の中でどのような移動手段を用いることが多いですか。あてはまるものをすべてお答えください。

A静岡県出身者（50～60代）

B地方移住希望者

C静岡市・周辺市町村居住者



調査結果 【参考】回答者の属性等

■ 移住・滞在先での日常生活で、利用したい移動手段

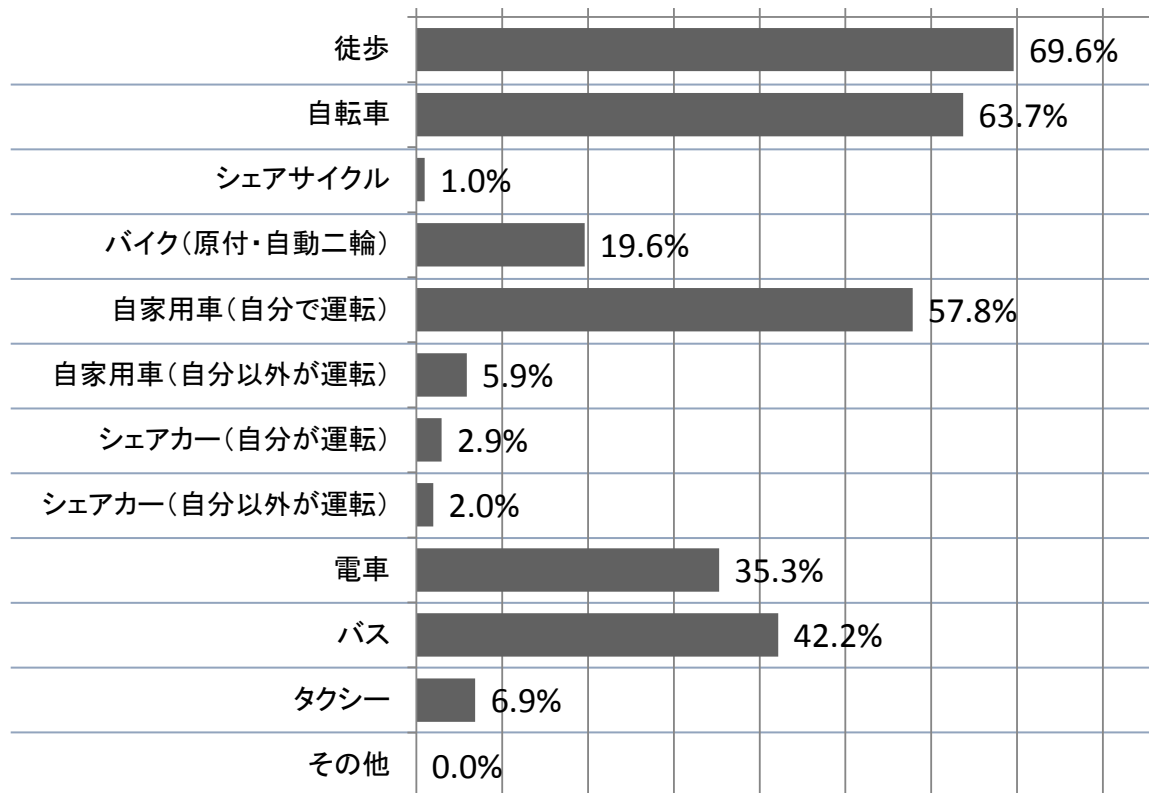
移住・滞在先での日常生活で利用したい移動手段として、A静岡県出身者・B地方移住希望者でも「徒歩」が最も多く、次いで「自転車」や「自家用車（自分で運転）」という回答が多かった。

あなたが将来、地方移住・2地域居住・長期滞在を行うと想定してお答えください。移住・滞在先での日常生活のなかで、どのような移動手段を主に利用したいと思いますか。あてはまるものをすべてお答えください。

A静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=102)

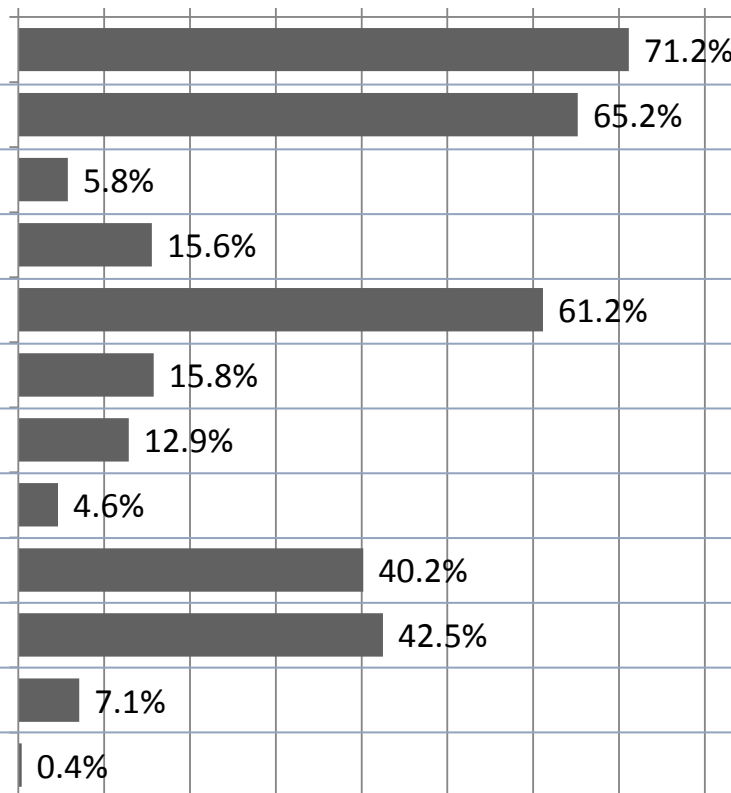
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%



B地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%



調査結果 【参考】回答者の属性等

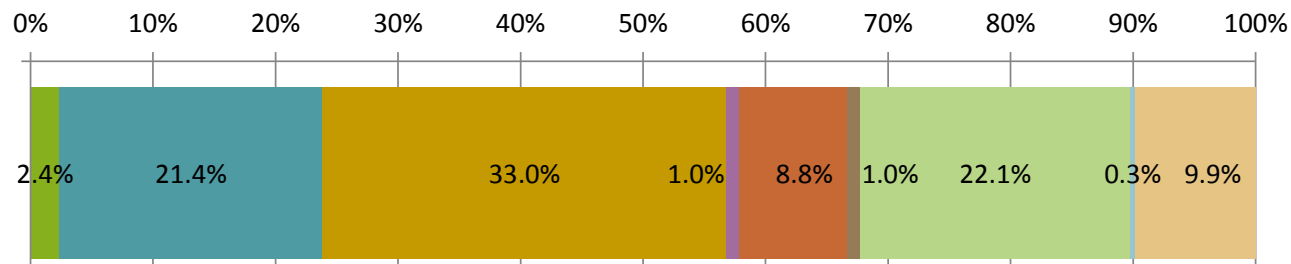
■ 将来の運転意向

A、B、Cともに「健康な限り」自分で自動車もしくはバイクを運転するという意向が最も強く、C静岡市・周辺市町村居住者では特にその傾向が強かった。

いつまでご自分で自動車もしくは、バイクを運転したいと考えていますか。最もあてはまるものをひとつお答えください。

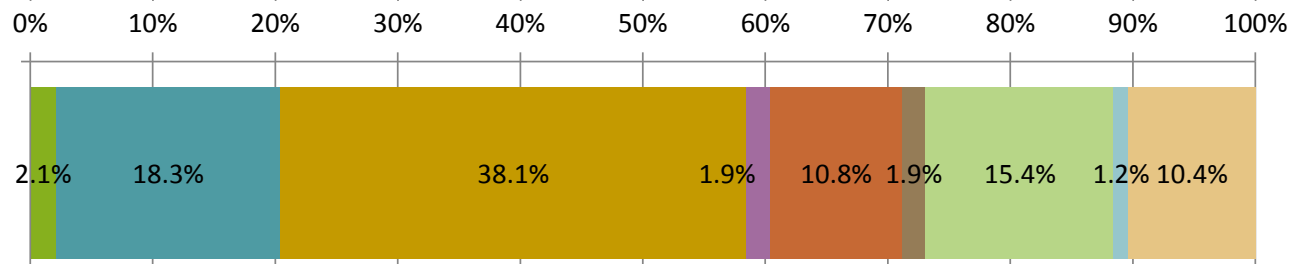
A 静岡県出身者（50～60代）

静岡県出身者・50～60代(N=294)



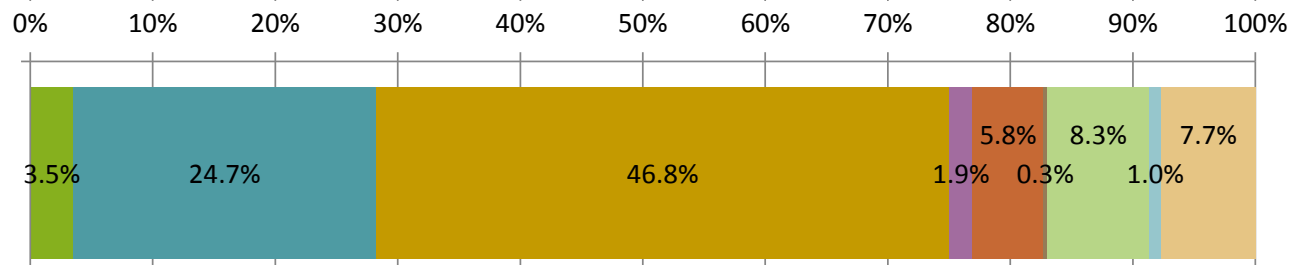
B 地方移住希望者

地方移住希望者(N=520)



C 静岡市・周辺市町村居住者

静岡市・周辺市町村居住者(N=312)



- 仕事を辞めるまで
- 他人に止められるまで
- 自分で運転をしない(もしくは運転免許を持っていない)ので、考えたことがない
- 日常生活で運転をする必要がなくなるまで
- 75歳で高齢者講習が必要になるまで
- その他
- 健康な限り
- 地域公共交通手段が整うまで
- わからない

效果影響分析

設定した3ケースの概要

試算にあたって必要な前提条件について、3ケースを設定した（赤字部分がケースにより想定値が変わる部分）。

● 潜在ニーズシナリオ

・静岡型生涯活躍のまち（CCRC）のターゲットである東京圏＋名古屋圏に居住している各アクティブシニアの潜在的な移住希望が達成される場合を想定（東京圏・名古屋圏以外については、総合戦略で想定している移住者数を適用）。

・東京圏と名古屋圏居住者では、「静岡県出身者（Uターン層）」と「地方移住希望者（Iターン層）」の2層を想定。

● 総合戦略目標シナリオ

・静岡市総合戦略で目標とされている、アクティブシニア移住者数が達成される場合を想定。

● 医療介護負担大シナリオ

・総合戦略目標シナリオと同様に、静岡市総合戦略で目標とされている、アクティブシニア移住者数が達成される場合を想定。

・静岡市総合戦略の目標値より高齢層・要介護者が多く移住し、かつ住所地特例対象のサ高住が建設されない場合を想定。

前提条件・データ項目	内容	設定（潜在ニーズシナリオ）	設定（総合戦略目標シナリオ）	設定（医療介護負担大シナリオ）
移住政策	政策実施期間	5年間	5年間	5年間
	年次移住者数	60人（東京圏＋名古屋圏）＋ 38人（総合戦略の目標達成で見込める、その他の地域からのアクティブシニア人口増）	50人（総合戦略での目標値）	50人（総合戦略での目標値）
	政策効果計算期間	50年間	50年間	50年間
移住者プロフィール	性別の分布	男：女＝0.5：0.5（東京圏＋名古屋圏） 男：女＝0.6：0.4（その他の地域）	男：女＝0.6：0.4	男：女＝0.6：0.4
	移住者の対象年齢幅	50歳～69歳（東京圏＋名古屋圏） 55歳～64歳（その他の地域）	55歳～64歳	55歳～69歳
	移住者の最大ボリューム層の年齢	60歳（東京圏＋名古屋圏） 一定（その他の地域）	各年齢階級で一定	各年齢階級で一定
	移住時の健康状態	50～64歳の5%が要介護認定、 65～69歳の20%が要介護認定と設定	50～64歳の5%が要介護認定と設定。	50～64歳の10%が要介護認定、 65～69歳の40%が要介護認定と設定
	住所地特例適用割合	地方移住希望者および、総合戦略目標・その他の地域からの移住者のうちサ高住入居者＝ 1割（サ高住入居者の割合で算出）	移住者のうちサ高住入居者＝ 1割（サ高住入居者の割合で算出）	サ高住入居者＝ 0割（サ高住入居者の割合で算出）
	年間消費可能額	240万円	240万円	240万円

潜在ニーズシナリオ 結果のまとめ

- 要介護3以上：最大（90%値）のピーク時(29年目)で79人。
- 医療介護給付費負担（市負担）：最大（90%値）50年間の累積11.1億円（ピークとなる時期は27年目）。
- 医療介護給付費に係る市民の保険料負担：最大（90%値）50年間の累積36.2億円(ピークとなる時期は29年目）。
- 経済波及効果：最小（10%値）の50年間の累積70億円（ピークとなる時期は21年目）。
- 社会保険料収入+市民税収入:最小（10%値）の50年間の累積45.5億円（ピークとなる時期は5年目）。

項目	シミュレーション結果（*）	項目	シミュレーション結果（*）
要支援・ 要介護者数	平均のピーク（28年目）時で127.46人[44.2%] 90%値のピーク（27年目）で141人[49.5%]	経済波及効果	平均のピーク（21年目）時で2.3億円、 10%値のピーク（21年目）時で2.2億円 50年間累積：平均72.4億円、10%値70億円
要介護者	平均のピーク（28年目）時で110.19人[41.3%] 90%値のピーク（28年目）時で121人[43.4%]	雇用誘発数	平均のピーク（24年目）時で110.03人、 10%値のピーク（23-25年目年目）時で103人 50年間累積：平均3,443人、10%値3,320人
要介護3以上	平均のピーク（29年目）時で69.12人[28.0%] 90%値のピーク（29年目）時で79人[30.3%]	税収効果	平均のピーク（22年目）時で0.057億円、 10%値のピーク（21年目）時で0.054億円 50年間累積：平均1.8億円、10%値1.75億円
医療介護給付費 負担（市負担）	平均のピーク（27年目）時で0.45億円 90%値のピーク（27年目）時で0.49億円 50年間累積：平均10.3億円、90%値11.1億円	市民税収入	平均のピーク（5年目）時で0.60億円 10%値のピーク（5年目）時で0.58億円 50年間累積：平均15.5億円、10%値15.0億円
医療介護給付費に対 する市民の保険料負 担	平均のピーク（28年目）時で1.3億円、 90%値のピーク（29年目）時で1.5億円 50年間累積：平均33.2億円、90%値36.2億円	社会保険料収入	平均のピーク（5年目）時で1.8億円、 10%値のピーク（5年目）時で1.7億円 50年間累積：平均31.5億円、10%値30.5億円
介護人材の 必要人員数	平均のピーク（28年目）時で46.26人、 90%値のピーク（27-29年目）時で50-51人	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 負担の合計43.5億円 <small>※平均値で比較</small> </div> <div style="font-size: 2em;"><</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 社会保険料・市民税収の合計47億円 経済波及効果・経済波及効果74.2億円 </div> </div>	
医療人材の 必要人員数	平均のピーク（19年目）時で15.36人、 90%値のピーク（17-22年目）時で16人		

※[]中の数値は、その時点で生存する移住者数に占める割合。

総合戦略目標シナリオ 結果のまとめ

- 要介護3以上：最大（90%値）のピーク時（29-30年目）で45人。
- 医療介護給付費負担（市負担）：最大（90%値）の50年間の累積5.9億円（ピークとなる時期は27年目）。
- 医療介護給付費に係る市民の保険料負担：最大（90%値）の50年間の累積9.3億円（ピークとなる時期は30年目）。
- 経済波及効果：最小（10%値）の50年間の累積35.8億円（ピークとなる時期は21年目）。
- 社会保険料収入+市民税収入：最小（10%値）の50年間の累積23.12億円（ピークとなる時期は5-6年目）。

項目	シミュレーション結果（*）	項目	シミュレーション結果（*）
要支援・要介護者数	平均のピーク（29年目）時で67.63人[50.7%] 90%値のピーク（30年目）時で78人[58.7%]	経済波及効果	平均のピーク（22年目）時で1.18億円、 10%値のピーク（21年目）時で1.10億円 50年間累積：平均37.6億円、10%値35.8億円
要介護者	平均のピーク（29年目）時で58.94人[44.2%] 90%値のピーク（29-31年目）時で67人 [46.5-50.4%]	雇用誘発数	平均のピーク（24年目）時で57.42人、 10%値のピーク（22-26年目）時で52人 50年間累積：平均1,785.9人、10%値1,670人
要介護3以上	平均のピーク（29年目）時で37.53人[28.2%] 90%値のピーク（29-30年目）時で45人[31.3- 33.8%]	税収効果	平均のピーク（24年目）時で0.03億円、 10%値のピーク（22年目）時で0.02億円 50年間累積：平均0.9億円、10%値0.89億円
医療介護給付費負担（市負担）	平均のピーク（27年目）時で0.24億円 90%値のピーク（27年目）時で0.27億円 50年間累積：平均5.3億円、90%値5.9億円	市民税収入	平均のピーク（5年目）時で0.30億円、 10%値のピーク（5年目）時で0.29億円 50年間累積：平均7.98億円、10%値7.62億円
医療介護給付費に対する市民の保険料負担	平均でピーク（29年目）時で0.71億円、 90%値のピーク（30年目）で0.81億円 50年間累積：平均17.1億円、90%値9.3億円	社会保険料収入	平均のピーク（5年目）時で0.89億円 10%値のピーク（6年目）時で0.86億円 50年間累積：平均16.2億円、10%値15.5億円
介護人材の必要人員数	平均のピーク（29年目）時で24.54人、 90%値のピーク（28-30年目）時で28人	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 負担の合計22.4億円 <small>※平均値で比較</small> </div> < <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 社会保険料・市民税収の合計24.2億円 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 100%;"> 経済波及効果・税収効果の合計38.5億円 </div>	
医療人材の必要人員数	平均のピーク（21年目）時で7.94人、 90%値のピーク（14-25年目）時で8人		

※[]中の数値は、その時点で生存する移住者数に占める割合。

医療介護負担大シナリオ 結果のまとめ

- 要介護3以上：最大（90%値）のピーク時（24年目）で47人。
- 医療介護給付費負担（市負担）：最大（90%値）の50年間の累積7.3億円（ピークとなる時期は23年目）。
- 医療介護給付費に係る市民の保険料負担：最大（90%値）50年間の累積24.7億円（ピークとなる時期は23年目）。
- 経済波及効果：最小（10%値）の50年間の累積35.8億円（ピークとなる時期は15年目）。
- 社会保険料収入+市民税収入：最小（10%値）の50年間の累積22.3億円（ピークとなる時期は5年目）。

項目	シミュレーション結果（*）	項目	シミュレーション結果（*）
要支援・要介護者数	平均のピーク（22年目）時で66.11人[41.1%] 90%値のピーク（21-24年目）時で75人[41.4-48.7%]	経済波及効果	平均のピーク（16年目）時で1.3億円 10%値のピーク（15年目）時で1.2億円 50年間累積：平均37.8億円、10%値35.8億円
要介護者	平均のピーク（22年目）時で58.16人[36.1%] 90%値のピーク（22年目）時で68人[39.5%]	雇用誘発数	平均のピーク（18年目）時で64.53人、 10%値のピーク（15-19年目）時で59-60人 50年間累積：平均1,898人、10%値1,770人
要介護3以上	平均のピーク（24年目）時で37.66人[26.3%] 90%値のピーク（24年目）時で47人[30.5%]	税収効果	平均のピーク（16年目）時で0.033億円 10%値のピーク（16年目）時で0.031億円 50年間累積：平均0.96億円、10%値0.91億円
医療介護給付費負担（市負担）	平均のピーク（22年目）時で0.26億円 90%値のピーク（23年目）時で0.29億円 50年間累積：平均6.6億円、90%値7.3億円	市民税収入	平均のピーク（5年目）時で0.33億円 10%値のピーク（5年目）時で0.327億円 50年間累積：平均7.7億円、10%値7.5億円
医療介護給付費に対する市民の保険料負担	平均のピーク（22年目）時で0.78億円 90%値のピーク（23年目）で0.9億円 50年間累積：平均22.2億円、90%値24.7億円	社会保険料収入	平均のピーク（5年目）時で0.99億円 10%値のピーク（5年目）時で0.98億円 50年間累積：平均15.3億円、10%値14.8億円
介護人材の必要人員数	平均のピーク(22年目)時で24.01人、 90%値のピーク（20-25年目）で27人	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px;">負担の合計28.8億円</div> <div style="font-size: 2em;"><</div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px;">社会保険料・市民税収の合計23.0億円</div> </div> <p style="text-align: center;">※平均値で比較</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px;">経済波及効果・税収効果の合計38.76億円</div> </div>	
医療人材の必要人員数	平均のピーク(16年目)時で8.25人、 90%値のピーク（14-18年目）で9人		

※[]中の数値は、その時点で生存する移住者数に占める割合。

分析結果のまとめ

①潜在ニーズシナリオ（首都圏等の本市への潜在的な移住希望者を取り込んだ場合） 490人(98人×5年)	
・医療・介護給付費への静岡市及び市民の保険料負担の合計（－）	43.5億円
・移住者による社会保険料・市民税収入の合計（＋）	47.0億円
・経済波及効果	74.2億円
・介護人材が最も必要となる時期と人数	27-30年目、45.8人
・医療人材が最も必要となる時期と人数	16-22年目、15.6人

②総合戦略シナリオ（市総合戦略で想定するアクティブシニア移住者数を取り込んだ場合） 250人(50人×5年)	
・医療・介護給付費への静岡市及び市民の保険料負担の合計（－）	22.4億円
・移住者による社会保険料・市民税収入の合計（＋）	24.2億円
・経済波及効果	38.5億円
・介護人材が最も必要となる時期と人数	29年目、24.4人
・医療人材が最も必要となる時期と人数	14-25年目、7.9人

③医療介護負担大シナリオ（②で、医療介護費負担を増大した場合） 250人(50人×5年)	
・医療・介護給付費への静岡市及び市民の保険料負担の合計（－）	28.8億円
・移住者による社会保険料・市民税収入の合計（＋）	23.0億円
・経済波及効果	38.7億円
・介護人材が最も必要となる時期と人数	21-25年目、24.0人
・医療人材が最も必要となる時期と人数	13-19年目、8.5人

- ☞ CCRCを推進することで得られる経済波及効果は大きい。（負担≒収入）
- ☞ 医療・介護人材が最も必要となる時期に向けて、計画的に医療・介護人材を育成・確保。